

2018 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、事業の中核をなす研究助成事業について、現行 9 の研究助成プログラムを継続し、2012 年度創設の医学部博士課程奨学助成で、博士号取得者が累計で 27 名となった。

(1) 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- ① 武田報彰医学研究助成は、財団の理事・評議員等から推薦された、大学、研究機関の研究室立上げ 3 年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究に対して、1 件 3,000 万円 10 件 計 3 億円を贈呈した。
- ② 生命科学研究助成は、満 55 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究に対して、1 件 1,000 万円 30 件 計 3 億円を贈呈した。
- ③ ライフサイエンス研究助成は、生命科学分野（医学・歯学・薬学を除く）の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 42 件 計 8,400 万円を贈呈した。
- ④ 医学系研究助成は、医学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 248 件 計 4 億 9,600 万円を贈呈した。[がん領域（基礎）40 件、がん領域（臨床）35 件、精神・神経・脳領域 55 件、感染領域 23 件、基礎 66 件、臨床 29 件]
継続助成は、本研究助成の 2015 年度および 2016 年度被助成者を対象に公募を行い、1 件 300 万円 31 件 計 9,300 万円を贈呈した。[がん領域（基礎）5 件、がん領域（臨床）2 件、精神・神経・脳領域 6 件、感染領域 4 件、基礎 11 件、臨床 3 件]
- ⑤ 薬学系研究助成は、薬学系の満 45 歳未満の研究者を対象に公募を行い、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究に対して、1 件 200 万円 42 件 計 8,400 万円を贈呈した。

継続助成は、本研究助成の2015年度および2016年度被助成者を対象に公募を行い、1件300万円 5件 計1,500万円を贈呈した。

- ⑥ 特定研究助成は、研究機関を対象に公募を行い、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究（学内または複数機関の融合研究）に対して、1件3,000万円～5,000万円 15件 計6億9,980万円を贈呈した。
- ⑦ ビジヨナリーリサーチ助成（スタート）は、我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究を対象に公募を行い、1件200万円 25件 計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ホップ）は、2015年度および2016年度（スタート）被助成者を対象に公募を行い、1件500万円 10件 計5,000万円を贈呈した。

継続助成（ステップ）は、2015年度および2016年度（ホップ）被助成者を対象に公募を行い、1件1,000万円 4件 計3,000万円（1件助成金受領辞退）を贈呈した。

継続助成（ジャンプ）は、2015年度および2016年度（ステップ）被助成者を対象に公募を行い、1件3,000万円を贈呈した。

- ⑧ 中学校・高等学校理科教育振興助成は、国内の中学校・高等学校（高等専門学校を除く）およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に公募を行い、中学校および高等学校の理科教育に貢献する研究または実践に対して、1件30万円 70件 計2,100万円を贈呈した。（中学校17件、高等学校53件）
- ⑨ 杏雨書屋研究助成は、杏雨書屋所蔵資料に関わる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件65万円～90万円 3件 計245万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は22億5,525万円（対前年度実績比4,535万円減）となる。

（医学系研究助成（臨床）1件 200百万円返還 総額22億5,325万円）

(2) 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

① 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、7指定国より52名、その他の国より10名、計62名の留学者が来日し、留学助成金として総額1億3,850万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2019年3月末までに留学助成した外国人
留学研究者の総数は43カ国から1,675名である。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

〈2019年3月31日現在〉

国 別	2018年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5			5	7名承認、1名2017年度に来日、1名次年度繰越
タ イ	8	8			8	8名承認
フィリピン	8	8	1		9	8名承認
韓 国	5	4			4	4名承認
中 国	10	8	5		13	8名承認
インドネシア	8	8	1		9	8名承認
ベトナム	6	3	1		4	6名承認、3名次年度繰越
7カ国 小計	51	44	8	0	52	
上記7カ国以外	10	10			10	13名承認、3名辞退
総 計	61	54	8	0	62	

② 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定7大学(東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、東北大学、九州大学)の医学(系)研究科博士課程基礎医学系への入学者(各大学2名、計14名)に対し、奨学金(年間360万円、最大4年間)の支給を行う事業を実施した。

2015年度から2017年度の奨学助成者36名と合わせて計50名に、総額1億8,000万円を奨学助成した。また、2016年度助成者で継続奨学助成の推薦を受けた者(12名)の中から、審査の上、研究優秀者に対して1件50万円 2件 計100万円を追加奨学助成した。従って、医学部博士課程の奨学金総額は、1億8,100万円となった。

なお、2018年5月24日(木)に第7回医学部博士課程奨学助成認定式を実施した。

③ 医師で博士号を有する海外研究留学研究者に対する助成（海外研究留学助成）

2019年度から留学助成を開始すべく、募集、選考された10名の候補者について理事長が最終決定した。

2019年2月22日（金）に第1回海外研究留学助成認定式を実施した。

(3) 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

2018年6月22日（金）に開催した選考委員会において、10名の候補者につき9名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、医学界において顕著な業績を上げられた2名（下記参照）の褒賞を決定した。

受賞者には、2018年11月12日（月）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状と賞牌と楯）および副賞（1件 1,500万円）をそれぞれ贈呈した。

祖父江 元 博士

受賞時職名：名古屋大学 特任教授

研究題目：運動ニューロン疾患の発症責任機序の同定とそれに基づく
disease-modifying therapy の開発

横山 茂之 博士

受賞時職名：理化学研究所 特別招聘研究員

研究題目：転写・翻訳の構造基盤の解明と応用

(4) 科学技術に関する時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

本年度は第20回 武田科学振興財団 生命科学シンポジウム The 20th Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience を開催した。

テ ー マ：「RNA ネオバイオロジー」

“RNA Neobiology”

組織委員長：審良 静男 先生（大阪大学 教授）

組織委員：稲田 利文 先生（東北大学 教授）

塩見 美喜子 先生（東京大学 教授）

講 演：21名（国内7名、国外14名）

ポスター発表（99件）

会 期：2019年2月1日（金）～2日（土）

場 所：武田薬品研修所（大阪府吹田市）

参 加 者：411名

シンポジウムポスター褒賞金は、ポスター発表者を対象に、組織委員

で構成する選考委員会で決定し、1件50万円5件計250万円を贈呈した。(褒賞)

(5) 科学技術の振興に関する出版物の発刊(本草医書発刊)

2018年5月、杏雨書屋機関誌「杏雨」21号を発刊した。

また、2018年8月に「杏雨書屋蔵 積砂版大蔵経目録 第四冊」を300部、12月に「杏雨書屋蔵 積砂版大蔵経目録 第五冊」を300部、2019年3月に「杏雨書屋蔵 積砂版大蔵経目録 第六冊」を300部発刊した。

(6) 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開(本草医書公開)

① 保管・整理

写真撮影75,369枚、複写製本953冊、補修1,582冊を行った。

② 公開

閲覧者は122名(閲覧図書741部、2,658冊)、複写依頼は52名(複写部数230部、8,796枚)、展示室見学者は4,935名(特別展示会を含む。)であった。

<常設展示会>

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。(見学者4,935名)

<特別展示会>

(i) 春季:4月9日(月)~14日(土)に「病草紙の模本」をテーマに開催した。(見学者267名)

(ii) 秋季:10月9日(火)~13日(土)、15日(月)~19日(金)、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪10月27日(土)、神農祭11月22日(木)~23日(祝)に杏雨書屋開館40周年記念として「福井崇蘭館の秘籍」をテーマに開催した。(見学者2,252名)

③ 研究講演会

i) 第39回 研究講演会を以下の通り行った。

日時:2018年4月14日(土)13:00~15:00

場所:武田科学振興財団 5階

演題:平安時代の医学と病草紙

演者:丸山 裕美子氏(愛知県立大学日本文化学部 教授)

演題:絵巻物の模本をめぐって

演者:松原 茂氏(根津美術館理事・学芸部長)

参加者：110名

ii) 第40回研究講演会を以下の通り行った。

日時：2018年10月13日(土) 13:00～15:00

場所：武田科学振興財団 5階

演題：宋元版の鑑定

演者：高橋 智氏 (慶應義塾大学文学部 教授)

演題：福井崇蘭館本について

演者：池田 寿氏 (元文化庁文化財主任調査官)

参加者：122名

④ 稀覯本購入

伊藤圭介葉書・書状 一括

長井長義朝鮮視察時写真帖 1点

察病指南(金南宋・施発撰 室町中期刊 五山版) 1点

羽田家古文書 116点

察病指南 1点

養生月覧 1点

香川修徳書状 1点

富士川游書 1点

列仙傳卷物(小曾戸文庫追加) 1点

以上

事業報告附属明細書

別表(1) 2018 年度研究助成概要

別表(2) 2018 年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2018 年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2018 年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 第 20 回武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者明細

2018年度 研究助成 概要

武田報彰医学研究助成

大学、研究機関の研究室立上げ3年未満の医学系研究者を対象に、世界をリードする医学の先端研究へ助成
(1件3,000万円 10件)

生命科学研究助成

満55歳未満の研究者を対象に、生命科学分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる
独創的な研究へ助成 (1件1,000万円 30件)

ライフサイエンス研究助成

生命科学分野(医学・歯学・薬学を除く)の満45歳未満の研究者を対象に、生命科学分野の進歩・発展に貢献し、
人類の健康増進に寄与する独創的な研究へ助成 (1件200万円 42件)

医学系研究助成

満45歳未満の医学系研究者を対象に、医学分野の進歩・発展に貢献する独創的な研究へ助成
(1件200万円 248件)

医学系研究継続助成

2015年度および2016年度の医学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 31件)

薬学系研究助成

満45歳未満の薬学系研究者を対象に、薬学分野の進歩・発展に貢献する独創的かつ先駆的な研究へ助成
(1件200万円 42件)

薬学系研究継続助成

2015年度および2016年度の薬学系研究助成対象者で、卓越した研究へ継続助成 (1件300万円 5件)

特定研究助成

研究機関を対象に、我が国の医学の発展に向け、研究機関が総力をあげて取り組む共同研究(学内または複数機関
の融合研究)へ助成 (1件3,000万円~5,000万円 15件)

ビジョナリーリサーチ助成(スタート)

我が国の医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある斬新でチャレンジングな研究へ助成
(1件200万円 25件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

2015年度および2016年度のビジョナリーリサーチ助成(スタート)対象者で、卓越した研究へ継続助成
(1件500万円 10件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

2015年度および2016年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(1件1,000万円 4件)

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

2015年度および2016年度のビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)対象者で卓越した研究へ継続助成
(1件3,000万円 1件)

中学校・高等学校理科教育振興助成

国内の中学校・高等学校(高等専門学校を除く)およびそれに準ずる機関の教員および職員を対象に、中学校・高
等学校の理科教育に貢献する研究または実践へ助成 (1件30万円 70件)

杏雨書屋研究助成

日本在住の研究者を対象に杏雨書屋所蔵の資料に関わる研究へ助成 (1件65~90万円 3件)

2018年度 贈呈対象者一覧

贈呈対象者は五十音順に記載しています（敬称略）
所属機関・職位は応募時のものです

武田報彰医学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
岡田 随象	大阪大学 大学院医学系研究科 遺伝統計学	教授	横断的オミクス解析による疾患病態の解明
北川 大樹	東京大学 大学院薬学系研究科 生理化学教室	教授	中心体複製機構の統合的解析と創薬への応用
久保田 義顕	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室	教授	血管多様性をうみ出す生体内因子の同定とそれに基づく血管関連疾患の病態解明
小林 弘一	北海道大学 大学院医学研究院 免疫学教室	教授	エピジェネティクスを用いた新しい癌免疫療法の開発
斉藤 典子	がん研究所 がん生物部	部長	ノンコーディング RNA による乳がん高次エピゲノム制御機構の解析
清水 拓也 (小林)	関西医科大学 医学部 医学科	教授	G 蛋白質共役受容体のシグナル選択的な制御法の開発
鈴木 啓一郎	大阪大学 高等共創研究院 (基礎工学研究科兼任)	教授	難治性遺伝病に対する根治的治療法の開発
武部 貴則	東京医科歯科大学 統合研究機構	教授	器官出芽機構の制御に基づく肝胆膵システム創生
中島 友紀	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学	教授	骨恒常性と全身性生体制御の連環システムの解明
濱崎 洋子	京都大学 iPS 細胞研究所 未来生命科学開拓部門	教授	胸腺組織の発生および退縮機構の解明と組織再構築による免疫制御法の開発

計 10 件

生命科学研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
阿部 一啓	名古屋大学 細胞生理学センター 基礎生物学部門	准教授	胃酸分泌の分子メカニズム解明と新規薬剤開発の為の構造基盤
伊川 友活	東京理科大学 生命医科学研究所 免疫生物学研究部門	准教授	リンパ球の発生・分化におけるエピジェネティック制御機構の解明
今井 淳太	東北大学 大学院医学系研究科 糖尿病代謝内科学分野	准教授	迷走神経シグナルを介した膵β細胞増殖制御による糖代謝恒常性維持機構の解明
浮穴 和義	広島大学 大学院総合科学研究科 生命科学研究領域 浮穴研究室	教授・ Distinguished Researcher	末梢組織での de novo 脂肪合成を制御する新規脳因子の機能解明
遠藤 求	京都大学 大学院生命科学研究科	准教授	植物の細胞運命決定における概日時計の機能と、種を超えた普遍性
大澤 匡範	慶應義塾大学 薬学部 生命機能物理学講座	教授	電位依存性イオンチャネルの分子認識と機能調節メカニズムの解明
加藤 洋一	名古屋市立大学 大学院大学医学研究科 細胞生化学	教授	繊毛形成過程における PIH1D3 の機能とそれに起因する繊毛病の病態の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
川崎 善博	東京大学 分子細胞生物学研究所 癌幹細胞制御研究分野	准教授	癌幹細胞の特性維持に関わる新規 lncRNA の機能解析
金 玟 秀	京都大学 白眉センター	特定准教授	細菌感染による脳機能障害メカニズム解明
木村 圭志	筑波大学 生物機能科学専攻 生体情報制御学研究室	准教授	非コード RNA による分裂期染色体と分裂期進行の制御
久場 敬司	秋田大学 大学院医学系研究科 分子機能学 代謝機能学講座	教授	心不全における RNA poly (A) 制御を介した心機能調節機構の解明
久場 博司	名古屋大学 医学系研究科 細胞生理学	教授	中枢聴覚神経回路における周波数依存的な機能獲得原理の解明
小柴 琢己	九州大学 大学院理学研究院 生物科学部門 生体高分子学講座	准教授	ミトコンドリア・ダイナミクスの作用機序と炎症代謝における役割解明
塩崎 一裕	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 細胞シグナル研究室	教授	細胞成長と増殖を司る TOR 複合体制御の分子基盤研究
束田 裕一	九州大学 稲盛フロンティア研究センター 先端生命情報研究部門	教授	全能性の獲得に必要なエピゲノム制御機構の解明
築地 真也	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻 ソフトマテリアル分野	教授	細胞内在性タンパク質の局在を化合物で操作する基盤技術の創出
中川 勇人	東京大学 消化器内科	助教	癌種特異的脂質代謝リプログラミングを標的とした肝胆道癌の新規治療戦略
中島 裕史	千葉大学 大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学	教授	気道上皮細胞-樹状細胞間クロストークの解明による新規喘息治療基盤の構築
永野 隆	大阪大学蛋白質研究所 蛋白質高次機能学研究部門 細胞核動態情報研究室	招聘教授	細胞核内クロマチン高次構造の動的制御メカニズム解明に向けた新戦略
西山 正章	金沢大学 医薬保健研究域医学系 組織細胞学	教授	CHD8 変異マウスを用いた自閉症の発症メカニズムの解明と治療への応用
蓮輪 英毅	慶應義塾大学 医学部 分子生物学	講師	ハムスター雌性生殖細胞における PIWI-piRNA の機能解析
細谷 俊彦	理化学研究所 脳科学総合研究センター 局所神経回路研究チーム	チーム リーダー	大脳皮質基本モジュールによる普遍的な情報処理の解明
牧島 秀樹	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学	准教授	ボトルネック効果に着目した急性骨髄性白血病の再発に関連するゲノム異常の解明
丸山 千秋	東京都医学総合研究所 脳発達・神経再生研究分野 神経回路形成プロジェクト	副参事 研究員	哺乳類大脳新皮質における層構造構築の原理とその進化のメカニズム
水関 健司	大阪市立大学 大学院医学研究科 神経生理学	教授	海馬における投射先特異的な情報処理機構の解明
宮道 和成	理化学研究所 多細胞システム形成研究 センター	チーム リーダー	光遺伝学とコネクトミクスを用いた出産を制御する神経回路の包括的理解
村上 正晃	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学分野	教授	精神・心理に伴うゲートウェイ反射の同定と解析
森田 林平	国際医療福祉大学 医学部 免疫学	教授	マクロファージ死の新規制御分子の同定と腫瘍免疫療法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
山本雅裕	大阪大学微生物病研究所 感染病態分野	教授	オートファジー分子による非標準的インフラマソーム 制御機構の解明
Wang Yu-Chiun	理化学研究所 多細胞システム形成研究 センター 上皮形態形成研究チーム	チーム リーダー	上皮折りたたみ形成における普遍的モーター、ブレー キとブレーキ解除機構

計 30 件

ライフサイエンス研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
新崎恒平	東京薬科大学 生命科学部・生命医科学科・ 分子細胞生物学研究室	准教授	レジオネラによる宿主細胞制御機構の解明
有田恭平	横浜市立大学 大学院生命医科学研究科 構造生物学研究室	准教授	DNA 維持メチル化を制御するマルチプルモノユビキチン化修飾の構造基盤
有村慎一	東京大学 大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻 植物分子遺伝学研究室	准教授	ミトコンドリア DNA をもっと簡単にしっかり切る(植物 MSH1 を用いたミトコンドリアゲノム編集法の改良)
安楽泰孝	東京大学 大学院工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 高井・カブラル研究室	助教	脳内の有害物質を持続的に除去する酵素封入ナノリアクタの開発
飯島崇利	東海大学 創造科学技術研究機構	テニユア トラック 准教授	神経回路構築をプログラムする生命情報多様性の解読と機能の解明
石川大輔	首都大学東京 大学院都市環境科学研究科附属 金の化学研究センター	特任助教	力学的に調整可能な柔らかい分子認識界面の構築
今村博臣	京都大学 生命科学研究科 高次生体統御学分野	准教授	シングルセル代謝分析技術を用いたエネルギー代謝制御機構の解明
岩野智	理化学研究所 脳科学総合研究センター 細胞機能探索技術開発チーム	基礎科学 特別研究員	人工生物発光プローブ技術の開発と自由行動マウスにおける生体内分子動態の非侵襲イメージングへの応用
岡田由紀	東京大学 定量生命科学研究所 病態発生制御研究分野	准教授	加齢に伴う精子クロマチンの量・質的变化の探索と経世代効果の検討
金井隆太	東京大学 定量生命科学研究所	助教	PS flippase の PS flipping 機構の構造生物学的研究
岸川淳一	京都産業大学 総合生命科学部 生命システム学科	研究助教	クライオ ET 法による膜タンパク質超複合体の構造解析
國信洋一郎	九州大学 先端物質化学研究所 機能分子化学分野	教授	超分子相互作用を利用する位置選択的フッ素系官能基化反応の開発
久原篤	甲南大学 理工学部 生物学科	教授	体の温度馴化における KQT 型カリウムチャネルの役割
久保田茜	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 植物科学分野 植物生理学研究室	助教	野外環境における光周性花成の分子メカニズム
小牧伸一郎	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 植物細胞機能	助教	植物の減数分裂における Spindle assembly checkpoint の解析
昆俊亮	東京理科大学 生命医科学研究所	講師	腫瘍リンパ管新生の実態の解明
齋藤大介	東北大学 学際科学フロンティア研究所	助教	生殖細胞における高弾性の役割と構造実体の解明
佐藤卓也	横浜市立大学 大学院生命医科学研究科 創薬再生科学研究室	助教	増殖/機能フェーズ転換可能な不死化細胞株の樹立
重光孟	大阪大学 大学院工学研究科 応用化学専攻 分子関連化学領域 木田研究室	助教	生体深部での光線力学療法を実現する光捕集超分子の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
篠原 恭介	東京農工大学 工学研究院生命機能科学部門 生命環境工学講座	テニユア トラック 特任准教授	マウス Tppp 遺伝子の機能解析による気道表面環境の 制御機構の解明
白川 一	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域 花発生分子遺伝学	助 教	植物ホルモンによる脱春化応答の制御メカニズム
杉江 淳	新潟大学 超域学術院 杉江研究室	テニユア トラック 助 教	人工光が引き起こすトリパータイトシナプス障害の発 症機序解明
鈴木 宏明	中央大学 理工学部 精密機械工学科	教 授	人工細胞膜リアクタ生成法の開発
曾和 義幸	法政大学 生命科学部 生命機能学科 超分子機能学研究室	准教授	大腸菌薬剤排出トランスポーターMdtB/MdtC の膜内 ダイナミクス
高尾 大輔	国立遺伝学研究所 中心体生物学研究部門	助 教	分子パターン形成の可視化による中心体複製メカニズ ムの解析
高橋 佑磨	千葉大学 大学院理学研究院 生物学研究部門 群集生態学研究室	特任助教	雌雄のモザイク的な表現型を維持するための遺伝基盤 の解明
竹花 佑介	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 アニマルバイオサイエンス学科 発生遺伝学研究室	准教授	メダカ属における性決定遺伝子多様化メカニズムの解 明
西村 亜衣子 (佐田)	筑波大学 生命領域学際研究センター 柳沢裕美研究室	助 教	三次元的に組織構造と幹細胞局在を捉える：マウス遺 伝学的手法と 3D プリンター を用いたアプローチ
林 陽平	東北大学 加齢医学研究所 医用細胞資源センター	助 教	代謝調節を介したマウス生殖細胞系列の分化制御機構 の解明
伴 匡人	久留米大学 分子生命科学研究所 高分子化学研究部門	講 師	ミトコンドリア膜融合を駆動する GTPase の構造変化 と脂質認識機構の解析
半谷 匠	東京大学生産技術研究所 炎症・免疫制御学 社会連携研究部門	特任助教	がん微小環境を制御する新規自己由来分子の同定
広瀬 侑	豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 分子遺伝学研究室	助 教	フォトーム解析による新奇光スイッチの探索
福嶋 俊明	東京工業大学 科学技術創成研究院 細胞制御工学研究センター 駒田研究室	助 教	乳がんおよび胎盤肥大を抑制するタンパク質 Nrk の作 用機構の解明
松尾 和哉	北海道大学 電子科学研究所 スマート分子材料研究分野	助 教	細胞の癌化メカニズムの解明に向けた分裂期染色体の ピンポイント光操作
丸山大輔	横浜市立大学 木原生物学研究所 国際総合科学部 生命環境コース 植物エピゲノム科学部門	助 教	ヘテロ受精による植物異種交配法
三木 崇史	同志社大学 研究開発推進機構（脳科学研究 科シナプス分子機能部門所属）	助 教	微小シナプスにおけるシナプス小胞の高速動員機構の 可視化
水沼 正樹	広島大学 大学院先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻 細胞生物学研究室	准教授	代謝産物による寿命制御機構

氏名	所属機関	職位	研究題目
宮崎晴子	同志社大学 大学院脳科学研究科 認知記憶加齢部門	助教	中枢無髄神経線維特異的に分布する蛋白質の探索
三好啓太	国立遺伝学研究所 系統生物研究センター 無脊椎動物遺伝研究室	助教	レトロトランスポゾン抑制因子の同定とその分子機能に関する研究
村田幸久	東京大学 大学院農学生命科学研究科 応用動物科学専攻 放射線動物科学研究室	准教授	動物の心を読む：動画による動物行動解析システムの構築
森本充	理化学研究所 多細胞システム形成研究 センター 呼吸器形成研究チーム	チーム リーダー	1 細胞ライブ系譜解析を使った肺胞幹細胞の不均一性の探索
八杉徹雄	金沢大学 新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア 数理神経科学ユニット	助教 (テニュア トラック)	「分化の波」の進行の数理モデルによる理解と生体内での検証

計 42 件

医学系研究助成

<がん領域（基礎）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
阿部 雄一	医薬基盤・健康・栄養研究所 プロテオームリサーチ プロジェクト	特任研究員	がん複雑性を攻略する細胞選択的リン酸化プロテオームの構築
大口 裕人	熊本大学 生命資源研究・支援センター 疾患エピゲノム制御分野	准教授	骨髄微小環境が骨髄腫細胞に及ぼすエピゲノム変化とその意義の解明
大場 茂生	藤田保健衛生大学 医学部 脳神経外科	講師	iPS 細胞を用いた変異型 IDH1 に基づくグリオーマモデルの作成
片瀬 直樹	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 生命医科学域 口腔病理学分野	助教	特異的癌関連遺伝子をターゲットとした頭頸部・口腔・食道癌の制御
門松 毅	熊本大学 大学院生命科学研究部 分子遺伝学分野	助教	がん免疫応答制御機構の新規分子基盤解明による新たながん治療戦略の創出
蒲池 史卓	大阪市立大学 大学院医学研究科 病態生理学	講師	肥満関連肝癌の微小環境における IL-33 の癌促進機構の解明
川端 剛	長崎大学 原爆後障害医療研究所 幹細胞生物学研究分野	助教	オートファジーによる癌がん抑制機構の解析
木内 泰	京都大学 大学院医学研究科 神経・細胞薬理学	准教授	がん浸潤・転移を引き起こす細胞内シグナル伝達の多重染色超解像顕微鏡法による解析
久保田 翔	熊本大学 国際先端医学研究機構 白血病転写制御研究室	日本学術 振興会 特別研究員 PD	染色体転座由来スーパーエンハンサー活性化による白血病発症の分子基盤解明
合山 進	東京大学医科学研究所 細胞療法分野	准教授	RUNX1-STUB1 PROTACs の作製と治療応用
小村 和正	大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室	助教	前立腺がんにおける男性特異的ヒストン脱メチル化酵素 KDM5D 欠失の分子生物学的特徴の解明
昆 彩奈	京都大学 大学院医学研究科 腫瘍生物学講座	助教	白血病幹細胞クローン進化過程の分子メカニズムの解析
坂根 亜由子	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 医科学部門 生化学分野	准教授	がん微小環境を構築する細胞外基質の分泌機構を標的とした抗がん転移戦略
櫻井 雅之	東京理科大学 研究推進機構 生命医科学研究所 分子病態学分野ー ゲノム&RNA 編集病態学	専任講師	RNA・DNA 編集によるゲノム安定性制御
佐々木 克博	京都大学 大学院医学研究科 細胞機能制御学	講師	直鎖状ユビキチン鎖生成亢進に基づく腫瘍形成及び免疫逃避機構の解明
佐藤 浩央	群馬大学 重粒子線医学推進機構 重粒子線医学研究センター	助教	放射線照射により誘発されるがん免疫治療標的分子 PD-L1 の発現調節機構の解明
志水 陽一	京都大学医学部附属病院 放射線部	助教	がん組織内低酸素領域を標的とした新規代謝捕捉型 Radio-theranostics 用薬剤の開発
秦 咸陽	理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究 センター 微量シグナル制御技術開発特別 ユニット	特別研究員	肝再生ループの破綻によるがん遺伝子持続活性化の機構解析
鈴木 佐和子	千葉大学医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科	助教	グルタミン代謝依存的フェロトーンシスを介した新たな癌抑制分子メカニズムの解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
高 端 大 希	兵庫県立粒子線医療センター 診療部	職員	ヘリウムイオン線による頭頸部がん治療の可能性の検討
高 橋 陵 宇	国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究分野	研究員	エストロゲン受容体陽性乳がんにおける骨転移形成機構の解明とその新規治療方法の開発
高 宮 里 奈	札幌医科大学 医学部 医化学講座	助教	がん糖鎖によるがん細胞内代謝リプログラミング機構の解明
田 中 守	名古屋市立大学 大学院医学研究科 消化器・代謝内科	助教	新規光感受性薬によるがん細胞選択的光線力学診断法・治療法の開発
田 中 麻理子	東京大学 医学系研究科 人体病理学	助教	膵臓がん機構の解明
塚 本 博 文	熊本大学 大学院生命科学研究部 免疫学分野	講師	免疫関連有害事象マネジメントと抗腫瘍免疫増強を両立する治療戦略開発
富 松 航 佑	滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 分子生理化学部門	特任助教	非ヒト霊長類がんモデル動物の作出と in vivo T 細胞療法への応用
内 藤 尚 道	大阪大学微生物病研究所 情報伝達分野	助教	腫瘍血管内皮細胞の「細胞死」誘導による血管新生阻害療法の開発
中 澤 世 識	群馬大学 総合外科学講座	医員	直鎖状ユビキチン鎖制御による EGFR-TKI 耐性肺癌の克服と臨床応用
長 町 安希子	広島大学 原爆放射線医科学研究所附属 放射線先端医学実験施設	助教	モノソミー7 を中心とする骨髄異形性症候群の発症機序の解明
中 山 ロバート	慶應義塾大学 医学部 整形外科教室	専任講師	小児・AYA 世代悪性軟部腫瘍における変異 SWI/SNF 複合体の分子生物学的解析
新 沼 猛	札幌医科大学 医学部 分子生物学講座	助教	ヒストンメチル化を標的とした多発性骨髄腫の個別化治療法の開発
濱 田 理 人	筑波大学 医学医療系 解剖学発生学研究室	助教	脾臓での転写因子 MafB による腫瘍随伴マクロファージ数の制御を介した腫瘍悪性化の抑制
福 田 尚 代	愛媛大学 大学院医学系研究科 肝胆膵・乳腺外科学	日本学術振興会、 特別研究員	膜輸送阻害を作用点とする新規抗腫瘍薬の候補化合物の同定および評価
間 石 奈 湖	北海道大学 遺伝子病制御研究所 血管生物学研究室	助教	がんエクソソームの血管異常化を介した転移促進機構の解明とその制御
増 井 憲 太	東京女子医科大学 医学部 病理学（第一）	助教	がん原性ヒストンメチル化は悪性脳腫瘍のがん代謝を再構成する
丸 山 順 一	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 病態代謝解析学分野	助教	がん幹細胞性を決定するキナーゼ DCLK1 による発がん機構の解明
三 河 拓 己	京都大学 大学院医学研究科 糖尿病内分泌栄養内科	博士研究員	老化恒常性を規定する解糖系代謝制御機構解明とその応用
山 内 拓 司	九州大学病院 遺伝子細胞療法部	助教	CRISPR-Cas9 機能的ノックアウトスクリーニング法を用いた AML に対する ATRA 併用新規分化誘導療法の開発
山 口 貴世志	東京大学医科学研究所 臨床ゲノム腫瘍学分野	特任講師	高感度 Wnt シグナルレポーターシステムの開発とがん治療標的分子の探索への応用
山 田 忠 明	京都府立医科大学 大学院 呼吸器内科学	講師	肺がん治療抵抗性細胞の分子機構の解明と治療・診断法の開発

計 40 件

<がん領域（臨床）>

氏名	所属機関	職位	研究題目
赤松秀輔	京都大学 大学院医学研究科 泌尿器科学講座	助教	網羅的ゲノム解析に立脚した転移性前立腺癌の予後予測モデルの構築
浅野有香	大阪市立大学 大学院医学研究科 腫瘍外科学講座	後期研究医	トリプルネガティブ乳癌における免疫微小環境制御の検証
足立克之	埼玉県立がんセンター 婦人科	副部長	遺伝性子宮体癌（リンチ症候群）の早期診断と予防的治療介入の可能性の追求
新井康之	京都大学 大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学	医員	機械学習を用いた、造血管疾患の最適化治療アルゴリズム確立
五十嵐央祥	札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座	研究員	大腸癌における幹細胞関連転写因子に着目した新規標的治療の開発
岩田宏満	名古屋市立大学 大学院医学研究科 放射線医学分野	研究員	前立腺癌に対する、新規吸収性スパーサーを使用した画像誘導陽子線治療による短期間治療法の確立
榎本圭佑	和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	助教	GLUT1 阻害によるホウ素中性子捕捉療法での腫瘍制御増強に関する研究
小野澤真弘	北海道大学 大学院医学研究院 血液内科学教室	助教	腫瘍特異的ゲノム修復機構を標的とした造血管悪性疾患治療法の開発
影山健	大阪市立大学 医学部大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学	病院講師	患者由来 NASH 肝細胞癌を直接肝移植した同所性 PDX 肝癌ラットモデルの確立と IVR 治療効果判定～オーダーメイド IVR 治療にむけて～
加藤格	京都大学 大学院医学研究科 発達小児科学教室	助教	小児がんの Patient-derived xenograft (PDX) bank の基盤構築
木下学	大阪国際がんセンター 脳神経外科	部長	脳腫瘍の個別化ゲノム医療を目指した MRI による AI 支援下非侵襲分子診断技術開発
康秀男	大阪市立大学 大学院医学研究科 血液腫瘍制御学	講師	治療抵抗性血液悪性腫瘍に対する同種移植後の予後予測マーカー及び治療標的となる新規分子の同定
小杉和博	国立がん研究センター東病院 緩和医療科	医員	子どもを持つがん患者のオンラインピアサポートグループ参加による臨床的効果の探索
後藤和人	九州大学 医学研究院 臨床検査医学	助教	骨髄性白血病に対するミトコンドリアをターゲットとした新薬開発
笹田伸介	広島大学 原爆放射線医学研究所 腫瘍外科	助教	通信用微弱電波を用いた乳腺腫瘍検出システムの最適化プログラム開発
重安邦俊	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科	非常勤講師	大腸癌における血中 small RNA 編集のリキッドバイオプシーへの応用
仙谷和弘	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学	講師	超保存領域 T-UCR による癌の分子機構の解明と組織 heterogeneity の検討
武田真幸	近畿大学 医学部 内科学講座 腫瘍内科部門	講師	肺癌クリニカルシーケンスにて同定される新規遺伝子変異の機能解析
田原裕之	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 消化器移植外科	助教	糖鎖抗原 NeuGc 発現肝癌における腫瘍学的特性の解析と特異的癌免疫療法の開発
田宮大也	大阪国際がんセンター 整形外科	医長	フェロトーシスにおける SHARPIN および PRMT5 の機能解析
寺井秀樹	北里研究所病院 呼吸器内科	医員	ゲノムワイド CRISPR/Cas9 スクリーニングによる肺癌薬物耐性の克服
富田雄介	熊本大学 大学院生命科学研究部 呼吸器内科学分野	助教	進行肺癌を対象とした腫瘍免疫抑制回避と能動免疫を併用するがん免疫療法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
中島 雄一郎	九州大学 大学院 消化器・総合外科	助教	胃癌のがん幹細胞を標的とした薬剤耐性獲得の分子機序の解明と新規治療の開発
野村 基雄	京都大学 腫瘍薬物治療学講座	医員	転移性粘膜黒色腫に対する Nivolumab+ Radiotherapy の第Ⅱ相臨床試験
畠 達夫	東北大学 大学院医学系研究科 外科病態学講座 消化器外科学分野	非常勤講師	血中エクソソーム内包物質を標的としたリキッドバイオプシーの結果に基づく腫瘍集学的治療の精密化
廣瀬 勝己	南東北 BNCT 研究センター	診療所長	NGS 遺伝子発現パネルを利用した全く新たながん BNCT 治療適応評価法の開発
福田 信治	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 細胞増殖・腫瘍制御部門 大学院 医学系研究科 生化学・分子遺伝学分野	講師	日本人の組織を用いた乳腺オルガノイド培養法の確立と薬剤評価系への応用
藤 重夫	大阪国際がんセンター 血液内科	医長	急性骨髄性白血病における新規治療標的としての表面抗原に関する研究
牧野 知紀	大阪大学 大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学	助教	食道癌・胃癌に対する新規免疫複合療法確立のための腫瘍微小免疫環境の解明
三田村 卓	北海道大学病院 婦人科	助教	進行卵巣癌の完全治療率の向上を目指すための胚細胞系列遺伝子研究
宮内 将	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	特任助教	疾患特異的 iPS 細胞モデルを応用した難治性造血器腫瘍の病態解明と治療法の開発
宮脇 恒太	九州大学 大学院 病態修復内科学	助教	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫周囲微小環境による予後層別化モデルの開発と新規治療標的の探索
三吉 範克	大阪大学 消化器外科	助教	がんの多様性の理解と新規治療戦略の構築
元島 崇信	熊本大学 大学院生命科学研究部 泌尿器科学分野	助教	マスマイトメーターを用いた超多次元解析でのバイオマーカー検索
横山 和明	東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科	助教	腫瘍循環 DNA を用いた白血病における革新的な移植後再発予測システムの構築

計 35 件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
青木 悠太	昭和大学 発達障害医療研究所	講師	親子関係を軸とした発達障害児における縦断的行動、神経画像、バイオサンプルに基づく症状変化の検討
阿部 欣史	慶應義塾大学 医学部 精神神経科学教室	研究員	拡散 MRI 信号から生理的現象を読み解くための基盤研究
伊藤 聡美	理化学研究所 統合生命医科学研究センター 粘膜免疫研究チーム	研究員	慢性ストレスによる腸内細菌叢攪乱が全身免疫系に与える影響の解析
衣斐 督和	京都府立医科大学 大学院医学研究科 病態分子薬理学	講師	ROS/gasotransmitter を介した行動制御の分子基盤の解明
上野 祐司	順天堂大学 医学部 神経学講座	准教授	脳梗塞後エクソソームによる軸索再生、機能回復の治療効果の検証
白井 紀好	大阪大学 大学院医学系研究科 附属共同研究実習センター	特任助教 (常勤)	社会性の形成に関わる神経基盤の解明
梅田 知宙	大阪市立大学 大学院医学研究科 認知症病態学	助教	Tau の細胞間伝播における autophagy の役割とリファンピシンによる防御
大石 陽	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 ラザルス研究室	助教	報酬行動が制御する睡眠神経回路の解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
大久保 佑 亮	国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 毒性部	主任研究官	AAV とクラスター化タンパク質の併用による in vivo 神経幹細胞制御法の開発
大 林 賢 史	奈良県立医科大学 疫学・予防医学講座	准教授	メラトニン分泌量が疾病発症に及ぼす影響：大規模コ ホート研究における検証
岡 崎 周 平	大阪大学医学部附属病院 脳卒中センター	助 教	植込型補助人工心臓の長期装着に伴う慢性脳障害に関 する前向き観察研究
緒 方 元 氣	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 分子生理学分野	特任講師	てんかんのオータメイド医療に資する埋込型薬物セン サシステムの開発
小 川 靖 裕	筑波大学附属病院 救急・集中治療部	医 師	中枢神経系における全身性炎症マウスの生存予後予測 因子の探索
小 川 雄 右	京都大学 大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康増進・行動学分野	助 教	認知行動療法の機序解明と最適化・個別化研究（完全 要因ランダム化試験）
押 鐘 浩 之	帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科	講 師	α -シヌクレインのプリオン様挙動に関する分子論的 解明
笠 井 高 士	京都府立医科大学 大学院医学研究科 神経内科学	講 師	新規パーキンソン病原因遺伝子 PGK1 に注目したショ ウジョウバエモデル構築と治療薬開発
金 子 奈穂子	名古屋市立大学 大学院医学研究科 再生医学分野	准教授	脳梗塞後の新生ニューロンの配置・分化制御と神経回 路の再生
金 丸 和 典	日本大学 医学部 細胞分子薬理学部門	准教授 (研究所)	アストロサイト活動依存的な反応性グリオシス制御因 子の探索
菊 田 周	東京大学 医学部 耳鼻咽喉科	特任講師	嗅上皮障害に対する鼻汁中インスリンの防衛的役割の 解明
古 賀 浩 平	兵庫医科大学 生理学 神経生理部門	講 師	トランスクリプトーム解析を用いた慢性疼痛が惹起す る不安増大の分子機構
近 藤 邦 生	自然科学研究機構生理学研究所 生体機能調節研究領域 生殖・内分泌系発達機構研究部門	助 教	糖代謝を制御する視床下部と末梢を結ぶ神経回路の解 明
酒 井 誠一郎	東京都医学総合研究所 生体分子先端研究分野 脳卒中ルネサンスプロジェクト	研究員	大脳新皮質の細胞タイプ特異的な神経回路再構築によ る脳卒中治療の開発
佐々木 亮	京都大学 医学研究科 高次脳科学講座 神経生物学分野	助 教	柔軟な意思決定の基盤となる神経回路機構の解明
佐 竹 智 子	横浜市立大学 大学院生命医学研究科 分子細胞医科学	特任助教	出生後の脳発達解析法を確立し、後天性脳発達異常 の発症機構を解明する
實 吉 岳 郎	京都大学 大学院医学研究科 システム神経薬理学	准教授	自己活性化型シグナル複合体による記憶維持のメカニ ズム
繁 富 英 治	山梨大学 大学院総合研究部 医学域 薬理学講座	助 教	シナプス-アストロサイト機能連関の可視化
重 水 大 智	国立長寿医療研究センター メディカルゲノムセンター 臨床ゲノム解析推進部 遺伝統計解析ユニット	ユニット長	PIB-PET 情報と全ゲノム情報からアルツハイマー病の 発症・進行規定因子の解明
實 木 亨	横浜市立大学 医学部 生理学教室	助 教	脳損傷後回復過程における AMPA 受容体集積部位の 時空間的解析
清 水 孝 洋	高知大学 教育研究部 医療学系 基礎医学部門 薬理学講座	准教授	ストレス誘発性頻尿の脳内機序解明
須 賀 英 隆	名古屋市立大学 大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学	講 師	疾患特異的 iPS 細胞を用いた遺伝性中枢性尿崩症 in vitro 実験系の確立

氏名	所属機関	職位	研究題目
杉山 栄二	慶應義塾大学 医学部 医化学教室	特任助教	脳内モノアミン 3 次元マッピングに基づく情動調節領域の同定
鈴木 マリ	東京都医学総合研究所 運動・感覚システム研究分野 糖尿病性神経障害プロジェクト	主任研究員	神経変性疾患の治療を目指した新規オートファジー活性化剤の探索
須山 成朝	慶應義塾大学 医学部 生理学	特任助教	C1q-like protein によるシナプス可塑性を介した摂食・エネルギー代謝調節
田井中 一貴	新潟大学脳研究所 システム脳病態学分野	特任教授	ヒト脳組織膨潤・透明化技術による神経病理学的解析
竹内 勇一	富山大学 医学薬学研究部 (医学) 解剖学・神経科学講座	助教	利き運動を司る脳内機構の解明
田中 進	関西医科大学 医学部 解剖学第一講座	准教授	単一細胞解析による覚醒制御メカニズムの解明
田中 基樹	愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 周生期学部 未熟児脳障害研究室	研究員	ステロイド合成酵素阻害剤フィナステリドを用いた新規脳梗塞治療法の開発
土井 宏	横浜市立大学 医学部 神経内科学・脳卒中医学	准教授	SCA42 モデルマウスの作成に基づく病態解明と治療法開発
中島 光子	浜松医科大学 医学部 医化学講座	准教授	小児難治てんかんを呈する疾患の原因遺伝子同定と分子病態解析
永田 健一	理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム	研究員	アルツハイマー病の病理進行を抑制する新規 genetic variant の探索
野本 真順	富山大学 大学院 医学薬学研究部 (医学) 生化学講座	助教	海馬 CA3 反回路を中心とした、情報統合プロセスの解明
橋本谷 祐輝	東京大学 大学院医学系研究科 神経生理学分野	助教	海馬歯状回ネットワークにおける苔状細胞の役割
畠山 淳	熊本大学 発生医学研究所 脳発生分野	助教	大きく発達した脈絡叢に着目したヒトの大脳皮質拡大のしくみの解明
林 朗子	群馬大学 生体調節研究所 脳病態制御分野	教授	シナプトバチーを標的とした AI 創薬戦略の創出
平野 有沙	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 櫻井武研究室	助教	神経ペプチドを介した睡眠覚醒リズム制御機構の解明
本多 敦子	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野	特任助教	神経軸索形成・再生を誘導する脂質ラフトのシグナル変換機構の解明
眞木 崇州	京都大学 大学院医学研究科 臨床神経学	助教	血管性認知症に対する新規治療法開発
松井 健	奈良県立医科大学 大学院医学研究科 未来基礎医学教室	博士研究員	ヒト脳オルガノイドを用いた Mowat-Wilson 症候群の病態解明
松井 鉄平	東京大学 大学院医学系研究科 機能生物学 統合生理学教室	助教	霊長類と齧歯類で保存された神経回路の機能分化とその遺伝子基盤
松本 直之	金沢大学 医薬保健研究域 医学系脳神経医学	助教	高等哺乳動物に特徴的な大脳皮質神経前駆細胞の分化機構の解明
間野 達雄	東京大学医学部附属病院 神経内科	助教	アルツハイマー病における DNA 傷害機構の解明
宮崎 雄	大阪大学 大学院医学系研究科 神経遺伝子学	特任助教 (常勤)	脳特異的な RNA 代謝制御による脊髄小脳失調症の新規治療戦略
村田 航志	福井大学 医学部 脳形態機能学分野	助教	視床下部外側野に投射する嗅皮質垂領域の機能と神経接続の解析

氏名	所属機関	職位	研究題目
矢野佳芳	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 神経生物解剖学分野	学術振興会 特別研究員 (RPD)	運動ニューロン変性に関連する新規分子の RNA 制御機構とヒト病態の解明
依田真由子	愛知医科大学 医学部 内科学講座 (神経内科)	特任研究 助 教	変異アンドロゲン受容体の標的分子から迫る、疾患 iPS 細胞を用いた球脊髄性筋萎縮症の病態解明

計 55 件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
奥田賢一	東京慈恵会医科大学 医学部 医学研究科 細菌学講座	講 師	細胞壁ターンオーバー因子を標的とした MRSA 薬剤耐性改変剤の開発
小倉康平	金沢大学 新学術創成研究機構 革新的統合バイオ研究コア 先端ヘルスケアサイエンス ユニット	テニユア トラック 助 教	レンサ球菌皮膚感染症惹起機構の研究
小田康祐	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 ウイルス学研究室	助 教	RNA ウィルスにおける新規標的因子 IFN 受容体を介した自然免疫回避機構
加藤大志	国立感染症研究所 ウイルス第三部	主任研究官	ポリメラーゼの成熟過程から見たパラミクソウィルスの RNA 複製機構の解明
金井亨輔	鳥取大学 医学部 感染制御学講座 ウイルス学分野	講 師	Epstein-Barr Virus 肝炎モデルとしての Murine herpesvirus 68 感染マウス肝炎の解析
川島晃	帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科 鈴木グループ	リサーチ レジデント	ブルーリ漬瘍におけるマイコラクトン合成および細胞死誘導機構の解明
河本聡志	藤田保健衛生大学 医学部 ウィルス・寄生虫学講座	講 師	新規な遺伝子操作系を用いた口タウィルス増殖・病原性発現機構の解明
腰塚哲朗	福島県立医科大学 医学部 微生物学講座	講 師	Viral Nedd4 adaptors による免疫回避機構の解析
小柳直人	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野	特任研究員	単純ヘルペスウィルスによる新規 CTL 回避機構の解明
高江洲義一	琉球大学 熱帯生物圏研究センター 分子感染防御学分野	准教授	結核菌感染によるマクロファージ機能転換の分子機序と感染防御における意義
高村史記	近畿大学 医学部 免疫学教室	講 師	肺滞在型メモリーCD8T 細胞分化調節機構の解明
土門久哲	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 微生物感染症学分野	助 教	In vivo iTRAQ 法を用いた細菌性肺炎の重症化因子の網羅的同定と分子解析
鳥居ゆか	名古屋大学 医学部 小児科	医 員	川崎病における病因病原体の探索及び炎症応答の網羅的解析
西村光広	神戸大学 大学院医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学	助 教	ヒトヘルペスウィルス 6B の感染に必須である糖タンパク質複合体の構造解析
橋田裕美子	高知大学 教育研究部 医療学系 基礎医学部門 微生物学講座	助 教	皮膚ポリオーマウィルスから探る炎症性・腫瘍性皮膚疾患の病態と宿主のオリジン
島山大	徳島文理大学 薬学部 薬学科 生化学教室	准教授	インフルエンザウィルスの RNA 依存性 RNA 合成酵素に対するアセチル化修飾の生物学的意義の解明
松本祐介	和歌山県立医科大学 医学部 微生物学教室	助 教	モデルウィルスを用いたクリミア・コンゴ出血熱ウィルスの病原性解析
森剛志	宮崎大学 医学部医学科 感染症学講座 微生物学分野	助 教	オートファジー制御に基づくヒトプリオン持続感染培養細胞の樹立

氏名	所属機関	職位	研究題目
門出和精	熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学教室	助教	内在性レトロウイルスのレトロトランスポゾン機構の解明とその新規制御因子の同定
安井文彦	東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野 感染制御プロジェクト	プロジェクト リーダー	鳥インフルエンザウイルス感染による病原性発現機序の解明と制御法の確立
山崎剛士	北海道大学 大学院獣医学研究院/国際感染症学院 獣医衛生学教室	助教	ストレス応答性転写調節因子 ATF3 を標的としたプリオン病の神経変性機構の解明
山崎達也	愛知医科大学 医学部 感染・免疫学講座	助教	抗体遺伝子を応用した新規ワクチン療法の開発
吉川禄助	長崎大学 感染症共同研究拠点 研究部門	助教	SFTSVの病原性機構の解明と新規抗SFTSV薬剤の探索

計 23 件

<基礎>

氏名	所属機関	職位	研究題目
浅田 騰	岡山大学病院 血液腫瘍内科	助教	自然免疫による骨髄造血調節機構の探索
畔上達彦	慶應義塾大学 保健管理センター	助教	免疫学的手法を用いた糖尿病性腎症に対する新規治療戦略の開発
泉家康宏	大阪市立大学 大学院医学研究科 循環器内科学	准教授	長寿遺伝子 SIRT7 による心肥大促進転写調節因子の制御機構解明
伊藤美智子	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臓器代謝ネットワーク講座 (分子細胞代謝学分野)	特任准教授	細胞死に対する生体応答とその変容による非アルコール性脂肪性肝炎発症機構の解明
稲嶺達夫	長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 薬物治療学分野	助教	肥満症の腸内細菌制御における分泌型イムノグロブリンの役割
井原聡三郎	朝日生命成人病研究所 消化器内科	消化器内科 部長	炎症性腸疾患の治療薬探索に有用な腸オルガノイド・免疫細胞共培養モデルの開発
今井祐記	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 病態生理解析部門	教授	DNA メチル化制御因子 Uhrf1 による骨格筋制御の分子基盤解明
今崎 剛	神戸大学 大学院医学研究科 生理学・細胞生物学講座 生体構造解剖学分野	特命助教	転写メディエーター複合体 CDK モジュールのリン酸化制御機構の解明
梅本晃正	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞制御研究室	特任助教	アデノシンを介した造血幹細胞の自己複製制御機構
大林典彦	筑波大学 医学医療系 生理化学研究室	准教授	間質性肺炎発症における低分子量Gタンパク質 Arf6 の機能解明
奥山祐子	東北大学 大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野	助教	炎症性疾患における自然リンパ球の新規機能制御機構の解明
尾内隆行	福井大学 学術研究院 医学系部門 形態機能医科学講座 解剖学分野	助教	円口類胚を用いた脊椎動物頭部骨格筋の進化的起源の解明
金山剛士	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 生体防御学分野	助教	敗血症における赤血球供給機構の解明
河野洋平	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 免疫アレルギー学分野	助教	新規生体機能遺伝子スクリーニング法を用いたアレルギー性炎症抑制機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
小林 翔	山形大学 大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座	助教	肝臓特異的グルタチオン合成酵素欠損によるフェロトーシスの生理的役割の解明
小松 紀子	東京大学 大学院医学系研究科 免疫学	助教	新規 T 細胞サブセットを標的とした自己免疫疾患の制御法の開発
古目谷 暢	横浜市立大学 大学院医学研究科 泌尿器科学	客員研究員	マイクロ流体システムを用いて生体内でのヒト精子形成を再現した組織培養法の開発
近藤 泰介	慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室	助教	代謝リプログラミングによるステムセルメモリー T 細胞の誘導機構の解明
細田 将太郎	大阪大学 大学院医学系研究科 生化学/分子生物学講座 遺伝学教室	助教	哺乳類オートファジーを制御する新規因子の解明
齋藤 史路	金沢医科大学 医学部 免疫学	助教	胎生期における樹状細胞の分化機構と免疫学的意義の解明
佐々木 泉	和歌山県立医科大学 先端医学研究所 生体調節機構研究部	助教	コレラ毒素による炎症性サイトカイン産生誘導を制御する分子機構の解明
里岡 大樹	滋賀医科大学 生命科学講座 生物学	助教	iPS 細胞技術を用いた抗原特異的 CD8 ⁺ Treg の再生による自己免疫疾患の制御
塩澤 裕介	日本医科大学 研究部共同研究施設 分子解析研究室	助教	無毒化ヘルペスウイルスベクターによる中枢神経系への治療遺伝子送達技術の開発
篠原 啓介	九州大学病院 循環器内科	医員	妊娠高血圧腎症の産後における脳を介した食塩感受性亢進機序の解明
清水 覚司	京都大学医学部附属病院 集中治療部	助教	オピオイドへの耐性形成機構の解明
下川 周子	群馬大学 大学院医学系研究科 国際寄生虫病学	助教	1 型糖尿病発症抑制に関わる CD8 ⁺ 陽性制御性 T 細胞の誘導メカニズム
白川 純	横浜市立大学 大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学	助教	膵ランゲルハンス島の不均一性に基づく膵β細胞機能の制御機構解明
鈴木 隆史	東北大学 大学院医学系研究科 医化学分野	講師	ストレスセンサー Keap1 による Nrf2 活性調節分子機構
須田 恭之	筑波大学 医学医療系 分子細胞生物学	助教	筋萎縮性側索硬化症における繫留複合体の役割
砂川 玄志郎	理化学研究所 多細胞システム形成研究 センター 網膜再生医療研究開発 プロジェクト	基礎科学 特別研究員	マウス心筋細胞を用いた能動的低代謝の in vitro 再構成
高田 幸	熊本大学発生活医学研究所 染色体制御分野	助教	哺乳類減数分裂期におけるポリコーム群タンパク質 Ring1B の作用機序の解明
高橋 昌幸	国立精神・神経医療研究 センター 神経研究所 疾病研究第四部	流動研究員	Gymnosis 関連分子とメカニズムの解明
瀧井 良祐	山口大学 大学院医学系研究科 医化学講座	助教	染色体分配関連因子による熱ショック応答の制御
田嶋 優子	名古屋大学 大学院医学系研究科 生物化学講座 分子細胞化学分野	助教	細胞内蓄積法を用いた Delta-like 1 homolog の細胞膜発現制御機構の解明
田中 達英	奈良県立医科大学 解剖学 第2講座	講師	順遺伝学的スクリーニングによる新たな疼痛制御因子の同定
種池 学	大阪大学 キャンパスライフ健康支援 センター 保健管理部門	助教	オートファジーの誘導による心不全治療の可能性についての探求

氏名	所属機関	職位	研究題目
出嶋克史	東京女子医科大学 医学部 第二生理学教室	助教	機能性 RNA の細胞間伝播を制御する分子機構の解明
中尾 新太郎	九州大学病院 眼科	講師	糖尿病網膜症におけるアンメットニース： Neuroinflammation/DAMPs を標的とした神経保護
中川 崇	富山大学 大学院医学薬学研究部（医学） 病態代謝解析学講座	准教授 （独立）	新規 NAD 合成経路による老化制御機構の解明
中嶋 洋行	国立循環器病研究センター 研究所 細胞生物学部	細胞機能 研究室長	血流によるメカニカルストレスに依存した新規血管形成機構の解析
中津 祐介	広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 医化学講座	講師	筋力および持久力を制御する Pin1 の機序解明とフレイル治療への応用
難波 大輔	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野	准教授	シングルセル解析によるヒト表皮幹細胞システムの解明
西澤 伸恭	北里大学 一般・小児・肝胆膵外科学	助教	肝樹状細胞による肝修復作用を制御する脂質メディエーターの役割
西田 友哉	順天堂大学 大学院医学系研究科 代謝内分泌学	准教授	新規レポーターを用いた膵β細胞におけるクリノファジーの生理的意義の検討
西村 健	筑波大学 医学医療系 遺伝子制御学	准教授	細胞の運命決定時におけるパイオニア転写因子量依存的な遺伝子発現制御
林 孝典	藤田保健衛生大学 医学部 生化学講座	講師	エストロゲンが食欲に及ぼす影響の分子メカニズム解明
羽山 陽介	国立循環器病研究センター 循環動態制御部	流動研究員	心臓支配神経の操作が及ぼす成長期心筋への影響の解明
原 太一	早稲田大学 人間科学学術院/人間総合研究センター 健康福祉科学科 細胞制御学研究室	教授	オルガネラ負荷軽減を基軸とした希少難病の予防・治療法に関する基盤研究
原田 理代	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 臨床解剖学分野	助教	雌性生殖管特異的Cxxc5欠損による雄性生殖管形態異常と雄性不妊の機序解明
東 智仁	福島県立医科大学 医学部 基礎病理学講座	講師	フォルミン分子による上皮細胞の細胞間接着と収縮環の制御機構
福田 智行	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	准教授	マイトファジーによるミトコンドリア分解の機構と生理機能の解明
福中 彩子	群馬大学生体調節研究所 分子糖代謝制御分野	助教	亜鉛シグナルによるペーリュ化決定機構の解明
藤坂 志帆	富山大学附属病院 第一内科	助教	腸内環境への介入による糖代謝への影響についての検討
別府 美奈子	千葉大学 大学院医学研究院 分子病態解析学	助教	マルチオミックス解析から捉える慢性炎症性脱髄性多発神経炎の病態解明
北條 宏徳	東京大学 大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 臨床医工学部門	助教	ゲノム編集と一細胞解析を融合した機能的エンハンサー探索法の開発
細木 華奈	大阪母子医療センター 研究所代謝部門	研究技術員 （研究員・ポ ストドク タークラス）	lncRNA による遺伝子発現調節を標的とした新規治療法の確立
堀 康博	獨協医科大学 医学部 生化学教室	講師	オルガネラのリン脂質恒常性に関わる新規脂質輸送因子の調節機構と疾患との関連性
松井 功	大阪大学 大学院医学系研究科 腎臓内科学	助教	蛋白カルバミル化修飾から心不全の新規治療法を探る

氏名	所属機関	職位	研究題目
松坂 賢	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	准教授	膵β細胞における脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の役割と新規糖尿病治療法の開発
松下 雅樹	名古屋大学 整形外科	助教	乗り物酔い防止薬メクロシンによる FGFR3 シグナル抑制効果の検討
三上 洋平	慶應義塾大学 内科学教室 消化器内科	特任講師	Single cell RNA-seq 法を用いた腸管炎症性 Th17 細胞特異的新規治療標的の同定
宮戸 真美	国立成育医療研究センター 研究所 分子内分泌研究部	上級研究員	NR5A1 変異に起因する性分化疾患発症機序の解明
村田 浩一	京都大学 大学院医学研究科 リウマチ性疾患先進医療学講座	特定助教	低酸素系に着目した関節リウマチの新たな破骨細胞分化抑制因子の解明と治療への応用
山中 総一郎	慶應義塾大学 医学部 分子生物学教室	専任講師	ゴノサイトのクロマチン解析から雄性不稔の原因を探る
山野 友義	金沢大学 医薬保健研究域医学系 免疫学	助教	胸腺における 3 型自然リンパ球の役割の解明
吉丸 耕一郎	九州大学 大学院医学研究院 小児外科学分野	助教	自家細胞移植治療の実現を目指した腸管神経節細胞単少症の患児由来乳歯幹細胞の評価

計 66 件

<臨床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
有村 公一	九州大学 大学院医学研究院 脳神経外科	助教	ハイパースペクトルカメラによる非侵襲的脳神経外科術中診断システムの開発
稲垣 絵海	慶應義塾大学 医学部 生理学教室	訪問研究員 (日本学術 振興会 特別研究員)	高齢化社会へ向けた in vitro 革新的加齢促進法の開発と創薬への応用
稲葉 秀文	和歌山県立医科大学 内科学 第一講座	講師	新規加齢適応調節機構に基づくバセドウ病の抗原特異的治療
植田 光晴	熊本大学医学部附属病院 神経内科	講師	質量分析法を用いたアミロイドーシス診断法の確立と新規関連分子の発見
宇都宮 裕人	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 循環器内科学	助教	経皮的治療時代を見据えた構造的心疾患の新たな評価法と予後へのインパクト
小川 愛子	岡山医療センター 臨床研究部	分子病態 研究室長	血小板由来増殖因子シグナル伝達経路を標的とした肺高血圧症治療の最適化
菊池 敦生	東北大学病院 小児科	助教	新規かつ高頻度の先天性ガラクトース代謝異常症の疾患概念確立
岸 誠司	徳島大学病院 腎臓内科	助教 (副科長)	アンドロゲン受容体を介した性差依存および非依存性の腎臓病進展機構の解明
小林 慎一郎	長崎大学 大学院 移植・消化器外科	助教	難治性消化管狭窄に対する導入次世代遺伝子細胞治療の確立
小林 奈奈	慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科	助教 (臨床実習)	膵島内分泌ネットワークを支配するシナプス形成分子の包括的解明
柴 直子	信州大学 医学部 再生医科学教室	助教 (特定雇用)	iPS 細胞を用いた STIM1 遺伝子変異によるミオパチー患者における心筋障害の病態解明と治療開発
鈴木 悠地	岩手医科大学 医学部 内科学講座 消化器内科肝臓分野	助教	急性肝不全末梢血に動員される Muse 細胞の機能解析と臨床応用に向けた基盤構築
田口 和己	名古屋市立大学 大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野	研究員	腎細胞間ネットワークにおける結晶貪食機構の解明と尿路結石の溶解治療の開発
田中 將太	東京大学 医学部 脳神経外科	助教	脊髄に発生する上衣腫の網羅的遺伝子解析と予後予測に関するバイオマーカーの同定

氏名	所属機関	職位	研究題目
谷 洋 彦	京都大学 大学院医学研究科 器官外科学講座 婦人科学・産科学分野	助 教	ヒト胚着床に関わる versican の機能解析
辻 川 哲 也	福井大学 高エネルギー医学研究センター 分子イメージング展開領域	准教授	全身骨髄TK1活性を可視化するFLT-PET/MRIによる骨髄不全症の病態解明
鳥 居 秀 成	慶應義塾大学 医学部 眼科学教室	助 教	世界的な近視人口急増に関する環境因子の探索
永 井 利 幸	北海道大学 大学院医学研究院 循環病態内科学	助 教	最先端遺伝子蛋白解析を用いた新規心不全個別化治療基盤開発と国際比較
新 堀 哲 也	東北大学 大学院医学系研究科 遺伝医療学分野	准教授	先天性橈尺骨癒合症のゲノム解析と発症メカニズムの解明
野 島 聡	大阪大学 大学院医学系研究科 病態病理学	助 教	3 次元的病理組織イメージングによる疾患の早期診断法の開発
乃 村 俊 史	北海道大学病院 皮膚科	講 師	先天性魚鱗癬における遺伝子変異消失機構の解明
平 川 陽 亮	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科	助 教	糖尿病性腎臓病における腎の酸素勾配の意義の検討
福 田 顕 弘	大分大学 医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座	助 教	肥満関連腎症進展メカニズムの解明と尿中ポドサイト mRNA 排泄量のバイオマーカーとしての有用性の検討
前 原 隆	九州大学 大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 顎顔面腫瘍制御学分野	助 教	－国際共同研究－ IgG4 関連疾患におけるクラススイッチの分子機序解明と新規治療戦略
光 武 翼	佐賀大学 医学部 地域医療科学教育研究センター	研究員	脳卒中片麻痺における tDCS と FES の同時介入による新規治療法の開発
門 前 暁	弘前大学 大学院保健学研究科 放射線技術科学領域 放射線安全管理学研究グループ	講 師	骨髄微小環境から修飾を受ける転移性骨腫瘍の放射線感受性制御の解明
柳 瀬 雄 輝	広島大学 医歯薬保健学研究科 皮膚科学	助 教	慢性蕁麻疹の病態解明と新規治療・診断ターゲットの探索
矢 野 文 子	東京大学医学部附属病院 整形外科 ティッシュ・エンジニアリング部 骨・軟骨再生医療寄付講座	特任講師	Prg4 を標的とした変形性関節症治療薬開発のための基盤研究
横 内 裕 敬	千葉大学医学部附属病院 眼科	助 教	ヒト高 VEGF (血管内皮増殖因子) 血症モデルを用いた生体内脈絡膜画像解析

計 29 件

医学系研究継続助成

<がん領域(基礎)>

氏名	所属機関	職位	研究題目
井戸川 雅史	札幌医科大学 医学部附属フロンティア 医学研究所 ゲノム医科学部門	講師	癌病態の解明と診断応用を目指した癌関連転写因子の標的長鎖非コードRNA探索
齊藤 泰之	神戸大学 大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 シグナル統合学分野	講師	がん微小環境を制御する新たながん免疫療法の開発
高橋 暁子	がん研究所 細胞老化プロジェクト	プロジェクト リーダー	non-coding RNA を標的とした新規がん治療法の開発
田沼 延公	宮城県立がんセンター研究所 がん薬物療法研究部	主任研究員	発がんストレス・老化ストレス下での好気代謝亢進が、細胞のがん化/悪性を推進する
西山 敦哉	東京大学医科学研究所 癌・細胞増殖部門 癌防御シグナル分野	講師	DNA メチル化維持機構の破綻がもたらすゲノム不安定化のメカニズムの解明

計 5件

<がん領域(臨床)>

氏名	所属機関	職位	研究題目
大上 直秀	広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 分子病理学研究室	准教授	消化管癌における核内 lncRNA の網羅的解析とその標的遺伝子の同定
塚原 智英	札幌医科大学 医学部・病理学第一講座	准教授	骨肉腫幹細胞特異分子の免疫誘導と制御

計 2件

<精神・神経・脳領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
斎藤 将樹	東北大学 大学院医学系研究科 分子薬理学分野	助教	神経前駆細胞の分化制御機構に関する新展開
澤田 雅人	名古屋市立大学 大学院医学研究科 再生医学分野	助教	移動する新生ニューロンの先導突起に局在する分子群の機能解析
茶屋 太郎	大阪大学 蛋白質研究所 分子発生学研究室	助教	内耳における繊毛の異常による聴覚障害発症メカニズムの解明
恒岡 洋右	東邦大学 医学部 解剖学講座 微細形態学分野	講師	養育行動によって変化する摂食代謝制御とその神経メカニズムの解明
藤田 幸	大阪大学 大学院医学系研究科 分子神経科学	助教	中枢神経回路障害における染色体高次構造の変動
水野 秀信	熊本大学 国際先端医学研究機構 水野研究室	特任准教授 (PI)	大脳皮質神経回路形成メカニズムの新生仔生体イメージングによる解析

計 6件

<感染領域>

氏名	所属機関	職位	研究題目
定岡 知彦	神戸大学 大学院医学研究科 附属感染症センター 臨床ウイルス学分野	助教	新規遺伝子産物機能解析による水痘帯状疱疹ウイルス潜伏感染機構の解明
鈴木 志穂	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 細菌感染制御学分野	助教	病原細菌感染におけるインフラマソーム活性化の分子メカニズム
住友 倫子	大阪大学 大学院歯学研究科 口腔細菌学教室	講師	トリセルラータイトジャンクションの破綻による劇症型レンサ球菌感染症の発症機構の解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
村田 貴之	藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学	教授	EB ウイルスの複製機構と増殖性疾患

計 4 件

<基礎>

氏名	所属機関	職位	研究題目
内田 邦敏	福岡歯科大学 細胞分子生物学講座 分子機能制御学分野	講師	TRPV2 チャネル活性を介したカルシウム依存性熱産生機構の解明
大海 雄介	中部大学 生命健康科学部 臨床工学科 大海研究室	助手	自己抗体 IgG 上のシアル酸リモデリングによる関節リウマチの新規治療法の探索
杉島 正一	久留米大学 医学部 医化学講座	准教授	NADPH-シトクロム P450 還元酵素からヘムオキシゲナーゼへの電子伝達機構解明
鈴木 教郎	東北大学 大学院医学系研究科 酸素医学分野	准教授	低酸素誘導性の可逆的ヌクレオソーム構造変換の分子機構
高島 誠司	信州大学 学術研究院 繊維学系 (繊維学部応用生物科学科) 高島誠司研究室	テニユア トラック 助教	精子幹細胞システム老化の原因が内分泌系機能低下によるものかを検証する
竹藤 幹人	名古屋大学医学部附属病院 循環器内科	助教	心疾患と G タンパク質共役受容体
松井 美紀	東北大学 大学院医学系研究科 生物化学分野	日本学術 振興会 RPD 特別研究員	ヘムシグナルによる転写因子 Bach2 の天然変性領域の制御機構と意義の解明
溝口 利英	東京歯科大学 口腔科学研究センター	講師 (独立)	骨髄間葉系幹細胞を制御する微小環境の解析
宮崎 正輝	京都大学ウイルス・再生医科学 研究所 再生免疫学分野	准教授	制御性 T 細胞における転写制御機構の解明とアレルギー性疾患の制御について
茂谷 康	徳島大学先端酵素学研究所 細胞情報学分野	助教	新規環状ジヌクレオチド cGAMP が誘導する炎症シグナルと関節リウマチの発症機序の解明
若林 卓	大阪大学 大学院医学系研究科 眼科	助教	組織常在型血管内皮幹細胞移植による虚血性眼疾患の治療法開発

計 11 件

<臨床>

氏名	所属機関	職位	研究題目
氏家 英之	北海道大学病院 皮膚科	講師	自己免疫性水疱症における末梢性自己免疫寛容破綻の機序の解明と治療応用
塩川 雅広	神戸大学 科学技術イノベーション先端 医療学分野	特別研究員	IgG4 関連疾患における自己抗原の同定
田中 将志	京都医療センター 臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部	流動研究員	単球・マクロファージ機能を標的とした肥満・糖尿病性血管障害・認知症の新規予知指標・治療戦略の開発

計 3 件

薬学系研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
石川文洋	近畿大学 薬学部 医療薬学科 有機薬化学研究室	専任講師	生合成系プロテオミクス解析技術を活用した人工天然物の汎用創製手法の確立
稲本浄文	武庫川女子大学 薬学部 薬化学Ⅱ研究室	准教授	遷移金属を用いた触媒的C-H官能基化による「新規複素環構築法創出研究」の新展開
井上雅己	神戸学院大学 薬学部 生体機能制御学研究室	助手	制御性T細胞に対する選択的ブースト効果をもつ機能性イムノサイトカインの開発
今西正樹	徳島大学病院 薬剤部	助教	がん関連線維芽細胞由来 ERK5 活性化による大腸がん悪性化抑制機序の解明
今見考志	京都大学 薬学研究科 製剤機能解析学分野	特任助教	RNA結合タンパク質のin vivo プロファイリングに基づく疾患因子の探索
位田雅俊	岐阜薬科大学 薬物治療学	准教授	家族性パーキンソン病原因遺伝子による2価鉄動態攪乱の可視化と創薬への応用
上田真史	岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 (薬学系)生体機能分析学研究室	教授	腫瘍・炎症の鑑別および腫瘍への効率的ホウ素送達を達成する多機能分子プローブの開発
大宮寛久	金沢大学 医薬保健研究域 薬学系	教授	ホウ素元素を含む生体関連分子の創製
小幡史明	東京大学 大学院薬学系研究科 遺伝学教室	助教	非感染性炎症による代謝異常を引き起こす腸内細菌因子の解明
勝見英正	京都薬科大学 薬学部 薬剤学分野	准教授	アミノ酸修飾に基づく腎臓標的化システムによる腎細胞癌治療法の構築
河野健一	京都大学 化学研究所 生体機能設計化学領域	助教	がん細胞由来のエクソソームを標的としたペプチド転移診断薬の開発
鍛代悠一	北海道大学 大学院薬学研究院 衛生化学研究室	助教	細胞死を介したがん免疫誘導手法の開発
草森浩輔	東京理科大学 薬学部 薬学科 生物薬剤学研究室	助教	創傷部位に直接貼付可能な皮膚再生細胞封入ゲルシートの開発
紅林佑希	静岡県立大学 薬学部 生化学分野	助教	薬剤耐性インフルエンザウイルスの迅速検出法開発と薬剤耐性化の機構解析
近藤直哉	大阪薬科大学 生体分析学	助教	革新的がんセラノスティクスを目指した分子マシンの生体内がん特異的駆動に関する研究
佐々木直人	神戸薬科大学 医療薬学研究室	准教授	動脈硬化性疾患における免疫機序の解明と新規治療法の開発
柴田識人	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部 第三室	主任研究官	ユビキチン-プロテアソーム系を利用した新規ユーイング肉腫治療薬の開発
高田和幸	京都薬科大学 統合薬科学系	教授	プロテノパチーに対する幹細胞由来胎生期マクロファージ移植の治療効果の解析
滝田良	東京大学 大学院薬学系研究科 国際卓越大学院 ワンストップ創薬共用センター	特任准教授	特徴的な分子骨格を活用する新反応と分子機能開拓
長野一也	大阪大学 薬学研究科 応用環境生物学分野	准教授	Exosome による分泌/排泄機構に着目した、人工ナノ粒子の血液生体関門透過機序の解明と生体応答の理解
中村孝司	北海道大学 大学院薬学研究院 薬剤分子設計学研究室	助教	ナノ DDS を用いたアジュバントの動態制御がもたらす腫瘍関連微小環境の免疫ステータス変動
中村由和	東京薬科大学 生命科学部 ゲノム病態医科学研究室	准教授	上皮性維持における細胞膜リン脂質の役割解明
中山淳	徳島大学 大学院医歯薬学研究部薬学域 有機合成薬学分野	助教	ER ストレスを惹起する新規マクロライドの骨髄腫治療薬への展開

氏名	所属機関	職位	研究題目
野村 洋	北海道大学 大学院薬学研究院 薬理学研究室	講師	失われた記憶を回復させる神経活動の解明
波多野 紀行	愛知学院大学 薬学部 医療薬学科 薬効解析学講座	講師	BBB における細胞間隙輸送経路開口メカニズムの解明
林 久允	東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室	助教	肝外組織の機能校正による肝移植適応外の難治性小児肝疾患の克服への挑戦
樋口 ゆり子	京都大学 大学院薬学研究科 薬品動態制御学分野	講師	低分子抗体自己組織化ナノコンポジットの創製
樋野 展正	大阪大学 大学院薬学研究科 生命情報解析学分野	助教	神経活動による 5hmC ダイナミズム調節機構の解明
平井 剛	九州大学 大学院薬学研究院	教授	複合糖質分解を追跡する分子プローブの開発
福島 圭穂	徳島大学 大学院医歯薬学研究部 生命薬理学分野	助教	新規蛍光標識法を用いたヒトEP4 プロスタノイド受容体の内在化メカニズムの解明とその応用
福田 隼	長崎大学 生命医科学域 薬品製造化学研究室	准教授	レソルピン類の構造特性に基づく標的タンパク質の探索
三澤 隆史	国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部 第2室	主任研究官	血液脳関門を突破する高次機能化シャトルペプチドの開発
水本 秀二	名城大学 薬学部 病態生化学研究室	助教	RAGE が関わる糖尿病合併症におけるグリコサミノグリカンの役割とその阻害効果
美多 剛	北海道大学 大学院薬学研究院 創薬科学部門創薬化学分野 精密合成化学研究室	助教	ヘテロ芳香環の切断を伴うカルボキシル化反応の開発
向井 康治朗	東京大学 大学院薬学系研究科 衛生化学教室	助教	STING を介した I 型インターフェロン応答の抑制機構の解明
森 貴裕	東京大学 大学院薬学系研究科 天然物化学教室	助教	有用物質生産に関わる酸化酵素の機能拡張と改変酵素を用いた分子多様性の創出
矢崎 亮	九州大学 大学院薬学研究院 環境調和創薬化学分野	助教	非天然アミノ酸の新合成戦略の開拓
安河内 友世 (川久保)	福岡大学 薬学部 免疫・分子治療学分野	講師	妊娠母体の One carbon metabolism に基づく次世代癌発症ヒエラルキーの解明
矢野 義明	京都大学 薬学研究科 薬品機能解析学分野	講師	アミロイド前駆体タンパク質の切断制御に関わる自己会合状態の解明
山岡 庸介	京都大学 大学院薬学研究科 薬品合成化学	助教	低分子天然物類縁体の特性を利用した新規抗腫瘍ADCの創製研究とその応用
山口 憲孝	千葉大学 大学院薬学研究院 分子心血管薬理学	准教授	新規 EMT 誘導因子 VGLL3 の癌悪性化における機能解析
輪島 丈明	東京薬科大学 薬学部 病原微生物学教室	講師	3次元皮膚組織モデルを用いた重症皮膚感染症治療評価系の確立

計 42 件

薬学系研究継続助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
五十里 彰	岐阜薬科大学 生命薬学大講座 生化学研究室	教授	細胞間タイト結合を起点としたがん化機構の解明と新規抗がん剤の開発
亀井 敬泰	神戸学院大学 薬学部 薬物送達システム学研究室	助教	インクレチン点鼻投与を基盤とする進行性アルツハイマー病薬物療法の開発
齋藤 康太	秋田大学 大学院医学系研究科 情報制御学・実験治療学講座	教授	巨大分子コラーゲンの分泌機構解析
佐々木 拓哉	東京大学 大学院薬学系研究科 薬品作用学教室	助教	グリア機能変容を起点とした虚血性神経細胞死の発症機構の解明
松本 健次郎	京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野	助教	炎症性細胞や血管内皮細胞に高発現する TRP チャンネルを標的とした炎症性腸疾患の治療

計 5 件

特定研究助成

機関名	代表者	職位	研究題目
金沢大学 医学系 脳神経医学分野	河崎 洋志	教授	大脳皮質形成機構と異常疾患病態の解明
関西医科大学 医学部 実験病理学講座	上野 博夫	教授	頭頸部上皮組織の成体幹細胞同定・単一細胞 RNAseq による先端療法開発への基盤形成
国立遺伝学研究所 構造遺伝学研究センター	前島 一博	教授	クロマチンと SMC 複合体が織りなす染色体高次構造の分子制御機構の解明
国立循環器病研究センター 研究所	望月 直樹	所長	遺伝子異常循環器疾患と臨床症状の多様性の原因究明のための基盤研究
産業医科大学 医学部 第2外科学	田中文啓	教授	末梢血ゲノム DNA や循環腫瘍細胞を用いた悪性中皮腫早期診断手法の確立
静岡県立大学 薬学部	渡辺 賢二	教授	ヒト細菌叢による疾病発症メカニズムの解明
千葉大学 大学院医学研究院 分子腫瘍学	金田 篤志	教授	炎症と老化によるエピゲノム異常と発癌機構の解明
東海大学 大学院医学研究科 ゲノム多様性解析センター (医学部基礎医学系分子生命科学)	今西 規	センター長・教授	迅速ゲノム解析と人工知能を用いた感染症診断支援システムの開発
東京工科大学 応用生物学部	宇井 彩子	准教授	クロマチンリモデリングを標的としたがん治療法とゲノム異常の解明
東京大学 大学院医学系研究科 神経生化学分野	尾藤 晴彦	教授	統合失調症とアルツハイマー病における神経情報伝達破綻の解明と根本治療戦略探索
東北医科薬科大学 分子生体膜研究所・機能病態分子学教室	井ノ口 仁一	所長・教授	ガングリオシド分子種による慢性炎症発症機序の解明と診断・制御法の開発
名古屋大学 医学系研究科	貝淵 弘三	教授	神経伝達物質のシグナル解析に基づく神経・精神疾患の分子病態解明
宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座 微生物学分野	新 竜一郎	教授	伝達性神経変性疾患の病態分子機構の解明と予防・治療法の開発
横浜市立大学 医学研究科 生理学	高橋 琢哉	教授	リハビリテーション促進薬開発のための AMPA 受容体 PET イメージング研究
琉球大学 大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学 講座	前田 士郎	教授	沖縄県の特徴的疾患構造を活かした希少難治性疾患のゲノム解析による病態解明

計 15 件

ビジョナリーリサーチ助成（スタート）

氏名	所属機関	職位	研究題目
縣 保 年	滋賀医科大学 生化学・分子生物学講座 分子生理化学部門	教授	iPS 細胞とゲノム編集を用いたネオアンチゲン特異的なキラーT 細胞の再生
赤 沼 啓 志	慶應義塾大学 医学部 微生物学免疫学教室	助教	ゼブラフィッシュを用いた免疫応答の可視化、およびT 細胞分化の制御システムの網羅的解析
磯 野 協 一	和歌山県立医科大学 動物実験施設	准教授	がん創薬に向けた新規分子探索法の開発
大 木 理 恵 子	国立がん研究センター研究所 基礎腫瘍学ユニット	独立 ユニット長	p53 遺伝子診断を用いたオーダーメイド治療法の開発
大 串 雅 俊	京都大学ウイルス・再生医科学 研究所 発生システム制御分野	准教授	ヒト多能性幹細胞特有の栄養外胚葉への分化現象の解明と応用に向けて
大 谷 直 子	大阪市立大学 大学院医学研究科 分子生体医学講座 病態生理学	教授	腸内細菌によるがんの予防・治療補助法の開発
奥 山 輝 大	東京大学 分子細胞生物学研究所 行動神経科学研究室	准教授	社会的感情の網羅的記録システムの開発
笠 原 広 介	三重大学 医学系研究科 分子生理学分野	准教授	ユビキチンシステムによる一次シリアの形成機構と癌細胞増殖制御
兼 子 裕 規	名古屋大学医学部附属病院 眼科	病院講師	目指せ“失明患者ゼロ”加齢黄斑変性の新たな敵：網膜下線維性増殖
鎌 倉 昌 樹	富山県立大学 工学部 生物工学科 機能性食品工学研究室	講 師	女王蜂が生殖機能と寿命を同時に制御する分子機構の解析
川 口 真 也	京都大学 産官学連携本部	特定准教授	培養皿での記憶・学習の構成
杉 田 誠	広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 口腔生理学研究室	教授	全脳領野の味覚機能地図の構築
田 中 元 雅	理化学研究所 脳科学総合研究センター タンパク質構造疾患研究チーム	チー ム リー ダー	アミロイドの人工的制御を目指して
西 川 恵 三	大阪大学免疫学フロンティア 研究センター 免疫細胞生物学	特任准教授	酸素に対する細胞応答を in vivo で解析するための新しい技術の開発
長 谷 耕 二	慶應義塾大学 薬学部 生化学講座	教授	腸管における自己免疫増幅機構の解明
藤 谷 与 士 夫	群馬大学 生体調節研究所 分子糖代謝制御分野	教授	栄養素による膵内分泌細胞の可塑性の制御
保 仙 直 毅	大阪大学 大学院医学系研究科 癌幹細胞制御学	准教授	固形がんに対する CAR T 細胞の開発
本 城 咲 季 子	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構	助教	マウスにおける長期断眠実験系の確立
宮 西 正 憲	理化学研究所 多細胞システム形成研究 センター 個体パターンニング研究チーム	研究員	造血幹細胞体外維持培養を目指した自己複製能分子メカニズムの解明
森 脇 健 太	大阪大学 大学院医学系研究科 細胞生物学	助教	ネクロプトーシスの分子機構の解明から炎症性疾患の治療へ向けて
山 口 良 文	北海道大学 低温科学研究所 生物環境部門 冬眠代謝生理発達分野	教授	哺乳類が有する冬眠能の分子基盤解明

氏名	所属機関	職位	研究題目
山崎世和	慶應義塾大学 医学部 生理学	助教	受容体膜タンパク質におけるネイティブなタンパク質複合体を指標とした新規結合因子の網羅的スクリーニング
山本尚	中部大学 総合工学研究所	教授	超高率革新的ペプチド合成ーペプチド創薬の基盤インフラ創成
吉田年美	熊本大学 国際先端医学拠点施設 (IRCMS)	客員准教授	造血幹細胞・前駆細胞のヘテロ不均一性を理解し、新規の早期造血系レインボーレポーターマウスを作成することで、炎症ストレスが造血システムの均衡に与える影響を解析する。
渡邊すぎ子	大阪大学微生物病研究所 遺伝子生物学分野	准教授	細胞老化に伴う核外クロマチンの分子機構とがんとの関係解明

計 25 件

ビジョナリーリサーチ継続助成 (ホップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
板倉英祐	千葉大学 大学院理学研究院 生物学研究部門 細胞機能制御研究室	助教	血液内の掃除システムの解明
戎家美紀	理化学研究所 生命システム研究センター 再構成生物学研究ユニット	ユニットリーダー	ヒトの時間ネズミの時間の原因解明
小川正晃	京都大学 医学研究科 医学専攻高次脳科学講座 神経生物学分野	講師	不確実な報酬に惹きつけられる神経機構
掛川渉	慶應義塾大学 医学部 生理学 I 教室	准教授	記憶を担う新しいGPCR 活性化機構
加藤洋人	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 ゲノム病理学分野	助教	がん環境の免疫ゲノム解析に基づく腫瘍免疫システムの本態解明
川原敦雄	山梨大学 大学院医学工学総合研究部 医学教育センター 発生生物学	教授	ゲノム編集技術を基盤とした新規機能遺伝子の探索
洲崎悦生	東京大学 大学院医学系研究科 機能生物学専攻 システムズ薬理学教室	講師	神経回路のグローバルな状態及びダイナミクス同定手法の開発
豊島文子	京都大学ウイルス・再生医科学 研究所 生命システム研究部門 組織恒常性システム分野	教授	妊娠における幹細胞の増殖・分化応答機構
橋本貢士	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 メタボ先制医療講座	寄附講座 准教授	肝臓における DOHaD 仮説の分子機構の解明
早河翼	東京大学医学部附属病院 消化器内科	助教	大量放射線被曝後の救命法の確立

計 10 件

ビジョナリーリサーチ継続助成 (ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
鈴木崇之	東京工業大学 生命理工学院	准教授	視神経軸索回路の再生モデル ～盲目のショウジョウバエの視覚を回復する～
塚本智史	放射線医学総合研究所 技術安全部 生物研究推進課	主任研究員	分解の視点で評価する卵の品質診断法の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
中島友紀	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 分子情報伝達学	教授	骨リモデリングの制御機構の解明
松井秀彰	新潟大学 超域学術院 脳病態解析分野	テニユア トラック 准教授	超短命アフリカメダカで明らかにするパーキンソン病 の新たな病態

計 4件

ビジョナリーリサーチ継続助成 (ジャンプ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
藤田恭之	北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子腫瘍分野	教授	正常細胞とがん細胞の相互作用

計 1件

中学校・高等学校理科教育振興助成

<中学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
阿子島 充	岩沼市立岩沼中学校	教諭	机の上で鉄が作れる・・・砂鉄や泥からキーホルダー金属と人間のかわり
市原 千明	名古屋市立南養護学校	教諭	特別支援学校における楽しい理科授業のモデルプラン作り
出田 朋邦	大阪市立新北島中学校	教諭	自作のケーター可逆振り子による重力加速度の精密測定
大宜見 勝也	竹富町立船浮小中学校	教諭	西表島船浮地区における地域素材の教材化 ～樹木名プレートの作成を通して～
片山 健介	逗子開成中学校・高等学校	教諭	実験考古学の手法を用いた骨角貝製品の製作体験研究
菊池 芳文	東海村教育委員会 指導室	理科教育 アドバイザー (指導室長付 嘱託)	永久活用を目的としたビジュアル地層教材の製作
小紙 雅之	札幌市立米里中学校	主幹教諭	かけがえない体験を約束する学びのデザイン ～「学級畑」体験的で課題探究的な環境教育
小島 直樹	安田学園中学校高等学校	教諭	都市に適応したコマルハナバチの生態と個体群構造の解析
齋藤 和宏	いすみ市立岬中学校	教諭	地域の自然を生かした理科学習 －プランナリアを活用した細胞分裂の観察－
中里 直	新島村立式根島中学校	主幹教諭	セミの鳴音分析による都市環境の理解とESDへの応用
西垣 千江	横浜市立樽町中学校	教諭	樽町中学校科学部による、塩分濃度とクラゲの生態の研究 ～クラゲは鶴見川を上って、ポニョを樽町まで運んでこられるのか～
橋本 悟	浦和実業学園中学校・高等学校	教諭	自作装置を用いて自然環境を再現しながらの生物飼育指導2
平田 裕樹	京都府立福知山高等学校附属 中学校	教諭	植物の成長に適した光の周期に関する研究
平敷 りか	中城村立中城中学校	教諭	強光応答性の熱帯植物を活用した光合成教育の新教材
星 康彦	那須烏山市立南那須中学校	教諭	那須烏山ジオパーク構想と学校教育
水田 昌子	小城市立芦刈中学校	教諭	「地域の環境を生かした理科教育」 ～専門家との連携による発展的学習～
山本 芳幸	倉敷市立玉島東中学校	教諭	「主体性」「対話性」「探究性」を追究した授業の研究

計 17 件

<高等学校>

氏名	所属機関	職位	研究題目
秋場 聡	宮城県仙台二華高等学校	教諭	好塩菌を用いた塩害土壌の回復に関する研究
秋山 和広	早稲田大学高等学院	教諭	PCR法を利用した実践的な教材の開発
足立 敏	愛知県立豊野高等学校	教頭	金属酸化膜が示す干渉色についての教材開発
跡部 弘美	福岡県立福岡高等学校	教諭	土壌の古細菌単離培養と古細菌の人への応用
阿部 勲	宮城県古川工業高等学校	教諭	分子生物学実験におけるPCR法によるコメの品種判別用プライマーの開発
筏 泰介	兵庫県立千種高等学校	教諭	小規模校における自然環境を生かした生徒主体の探究的な活動の実践
池内 秀和	京都市立京都工学院高等学校	教諭	バイオイメーjingを利用した細胞呼吸の物質動態を可視化する生命科学教材の開発

氏名	所属機関	職位	研究題目
石丸雄基	大阪高等学校	常勤講師	相川地区汽水域河川の水質と植物プランクトン調査
伊藤政夫	名古屋市立向陽高等学校	教諭	トレニアとユリを用いた植物の生殖に関する教材の開発
稲垣貴也	愛知県立岡崎高等学校	教諭	理科の授業及び科学系部活動で活用できるマイコン Arduino を用いた測定装置の開発 ー各校との連携による活用事例集の作成ー
内山智幸	青森県立十和田工業高等学校	教諭	SDR を利用した、超小型衛星のドップラー効果を検証する方法の開発
大方祐輔	広島大学附属福山中・高等学校	教諭	化学基礎「酸と塩基の反応」の単元において化学平衡を動的に捉えさせる探究活動を取り入れた授業の開発と実践
大倉香人	貞静学園中学校・高等学校	教諭	身近な植物「ヘクソカズラ」の内生菌の系統と植物との共生関係の解明
大島輝義	東京都立戸山高等学校	教諭	インクルーシブデザインに基づいた化学の教材開発
大沼克彦	秋田県立大曲農業高等学校	教諭	田沢湖のクニマスはなぜ死滅したのか
岡崎正路	岐阜県立多治見高等学校	教諭	熱音響現象によるエネルギー変換モデルの教材化 ～熱から音そして熱へ～
小野敏夫	英数学館高等学校	理科教員	光学活性テルペン類の麻酔作用と抗菌作用の研究
小野浩志	岐阜県立岐阜高等学校	教諭	一目で分かる光の干渉実験装置を開発し、干渉の発展的な理解を促す
柿沼孝司	埼玉県立熊谷西高等学校	教諭	硫化亜鉛によるフォトルミネッセンスと太陽電池の研究
神谷恭司	岐阜県立岐山高等学校	教諭	ホバリング飛行能力を持つ蛾「ハウジャク亜科」の秘密に迫る
川勝和哉	兵庫県立西脇高等学校	教諭	火山岩の節理面に生じる流理構造の形成過程とマグマ分化の条件の解明
河田雅幸	岐阜県立加茂高等学校	教諭	アルゼンチンアリの合成道するベフェロモンに対する行動学的研究 ～誘導捕獲装置の開発に向けて～
阪本和則	京都府立桃山高等学校	教諭	学校内の電波伝搬特性の研究
佐藤功	東京都立豊島高等学校	指導教諭	黒板に貼る大型凸・凹レンズと2色レーザー光源を用いたレンズの説明装置の作製
品川杏彩	東海大学付属静岡翔洋高等学校	教諭	富士山世界文化遺産構成資産に生息する海浜植物の保全と普及啓発・地域貢献
杉戸大樹	三重県立四日市南高等学校	教諭	授業および課外活動における本物体験とその教材の創作
鈴木朋子	茗溪学園中学校高等学校	教諭	化学物質を介した生物間コミュニケーションへのアプローチ
反町優太	共愛学園中学校・高等学校	専任講師	群馬県の特徴を生かした中和モデルの製作と評価
高屋浩介	広島県立賀茂高等学校	理科教諭	透明骨格標本を用いたニフトリの胚発生過程の教材化
田中吾飛夢	三重県立四日市四郷高等学校	教諭	四日市市河口における環境調査とカニの生息状況
田中雅彦	神奈川県立平塚農業高等学校	教諭	インクラゲの窒素固定能を利用した肥料化の試み
谷良夫	兵庫県立尼崎小田高等学校	教諭	兵庫県産カスミサンショウウオの遺伝的特性の解明
中川和倫	愛媛県立今治西高等学校	教諭	高縄半島東部における河川生態系の生物研究
中川友里	奈良県立西和清陵高等学校	教諭	墨作りの原理を活用した膠による炭素材料の水への分散化 ～サイエンスチームの研究実践活動～

氏名	所属機関	職位	研究題目
仲島浩紀	帝塚山中学校・高等学校	教諭	プラスチックの構造の違いによる物性変化を体感できる教材開発
中野剛	宮城県仙台第三高等学校	教諭	プラナリアのストレス受容機構についての研究
中安雅美	東京都立多摩科学技術高等学校	教諭	高等学校における環境教育として食品廃棄物の解決策に関する研究
名取慶	順天中学校・高等学校	教諭	蜂蜜が及ぼす抗菌性の検討
根岩直希	大阪府立桜塚高等学校 定時制の課程	教諭	生命観を育成するための教材開発 ー鳥類有精卵の酢卵化による発生過程の観察ー
長谷川航	和歌山県立串本古座高等学校 串本校舎	教諭	紀伊半島南部に生息する国指定天然記念物オカヤドカリ類の生態研究
氷見栄成	富山第一高等学校	教諭	植物の環境応答と遺伝子発現制御を学ぶ生物実験系の確立
福井美帆	島根県立浜田高等学校	教諭	Ag スタック導電性樹脂フィルムを使い、電解液にヨウ素溶液を使わない色素増感型太陽電池の作成
藤本順子	徳島県立城北高等学校	教諭	生徒課題研究の充実と発展 徳島県のカンサイタンポポはなぜ強いのか？
布施達治	千葉県立松戸向陽高等学校	教諭	光合成単元における地域性を生かした実験植物栽培による教材開発
船津勇一	大分県立日田高等学校	指導教諭	生徒による大分県絶滅危惧種ミツガシワの保全生態に関する研究
前田香織	東京大学教育学部附属 中等教育学校	主幹教諭	科学部高校生の探究活動を発展、継続させる実践 ～ミニ研究者育成を目指して～
間世田雄人	岐阜県立大垣養老高等学校	教諭	醸造酵母の育種と利用
末栄良弘	金沢市立工業高等学校	臨時的 任用講師	剛体棒振り子の運動シミュレーション解析と周期測定 実験装置の開発
松本浩司	愛媛大学附属高等学校	教諭	授業におけるゲノム解析から探る酢酸菌の進化とお酢製造文化伝承経路の解明
吉沼利晃	北海道標茶高等学校	教諭	タンチョウを主とした鳥類骨格標本の作製および校内ミニ博物館構想
吉野英雄	千葉県立銚子高等学校	教諭	海藻の教材化
米沢剛至	仁川学院高等学校	教諭	陽イオン交換樹脂を用いた、簡便な食塩水の電気分解 実験の普及
綿路昌史	市立札幌旭丘高等学校	教諭	地球温暖化がトンボ科アカネ属に及ぼす影響 ー卵の有効積算温度からの考察ー

計 53 件

杏雨書屋研究助成

氏名	所属機関	職位	研究題目
阿部大地	西南学院大学 大学院国際文化研究科 国際文化専攻	博士後期課程 大学院生	明治期に開催された物産会の研究
ヴィグル・マティアス	二松學舎大学 文学部 都市文化デザイン学科	専任講師	近世期における医学関係の図の役割
星野卓之	北里大学 東洋医学総合研究所 医史学研究室	部長	吉益東洞『方極』関連書籍の研究

計 3 件

2018年度研究助成の応募件数と採択件数および採択率

プログラム名	応募件数	採択件数	採 択 率
武田報彰医学研究助成	29	10	34%
生命科学研究助成	176	30	17%
ライフサイエンス研究助成	182	42	23%
医学系研究助成（がん領域・基礎）	110	40	36%
医学系研究助成（がん領域・臨床）	93	35	38%
医学系研究助成（精神・神経・脳領域）	140	55	39%
医学系研究助成（感染領域）	63	23	37%
医学系研究助成（基礎）	184	66	36%
医学系研究助成（臨床）	79	29	37%
医学系研究助成（小計）	669	248	37%
医学系研究継続助成（がん領域・基礎）	10	5	50%
医学系研究継続助成（がん領域・臨床）	5	2	40%
医学系研究継続助成（精神・神経・脳領域）	13	6	46%
医学系研究継続助成（感染領域）	9	4	44%
医学系研究継続助成（基礎）	20	11	55%
医学系研究継続助成（臨床）	6	3	50%
医学系研究継続助成（小計）	63	31	49%
薬学系研究助成	147	42	29%
薬学系研究継続助成	13	5	38%
特定研究助成	29	15	52%
ビジョナリーリサーチ助成（スタート）	326	25	8%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ホップ）	21	10	48%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ステップ）	8	4	50%
ビジョナリーリサーチ継続助成（ジャンプ）	6	1	17%
中学校理科教育振興助成	42	17	40%
高等学校理科教育振興助成	130	53	41%
杏雨書屋研究助成	7	3	43%
合計	1,848	536	29%

(2018.8.31)

2018年度来日外国人留学研究者(国別人数)

<2019年3月31日現在>

国 別	2018年度 計画 (人数)	実 績 (人数)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	5			5	7名承認、1名2017年度に来日、1名次年度繰越
タ イ	8	8			8	8名承認
フィリピン	8	8	1		9	8名承認
韓 国	5	4			4	4名承認
中 国	10	8	5		13	8名承認
インドネシア	8	8	1		9	8名承認
ベトナム	6	3	1		4	6名承認、3名次年度繰越
7カ国 小計	51	44	8	0	52	
上記7カ国以外	10	10			10	13名承認、3名辞退
総 計	61	54	8	0	62	

2018年度外国人留学研究者明細

2018/4/1-2019/3/31来日者

氏名	所属	研究機関
台 湾		
Wei-Cheng Huang 唯誠	Wanfang Hospital	国立がん研究センター中央病院 内視鏡センター
Chih-Hau Chang 張智豪	Chung-Ho Memorial Hospital, Kaoshiung Medical University	広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター
Shih-Hsiang Chou 周世祥	Kaohsiung Medical University Hospital	徳島大学大学院医歯薬学研究部 運動機能外科学(整形外科)
Keng-Liang Kuo 郭耿良	Kaohsiung Medical University Hospital	慶應義塾大学医学部 脳神経外科学教室
Chia-Hung Yang 楊嘉宏	Chang Gung Memorial Hospital, Linkou	産業医科大学病院 臨床検査・輸血部
小 計	5名	
タ イ		
Saran Malisorn	Naresuan University Hospital	奈良県立医科大学 整形外科教室
Bongkod Surattichaiyakul	Bhumi Rajanagarindra Kidney Institute Hospital	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科
Pimchanok Pariyaeksut	Ratchaburi Hospital	亀田総合病院 ウロギネ科
Tanate Chira-adisai	Naresuan University Hospital	京都府立医科大学 眼科学教室
Nutthaporn Chandeying	Vajira Hospital, Navamindradhiraj University	埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科
Phuriphong Chanthima	Maharaj Nakorn Chiang Mai Hospital	東京女子医科大学 麻酔科
Chatchaya Kamnerdthong	Hatyai Hospital	島根大学医学部附属病院 手術部
Anan Srinivorn	Hatyai Hospital	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座小児成育外科学
小 計	8名	
フィリピン		
Ryan Uy Chua	University of Santo Tomas Hospital	東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科教室
Joverienne Singian Chavez	Global Care Medical Center of Canlubang	亀田総合病院 スポーツ医学科
Daryl Anne Alberto Del Mundo	Philippine General Hospital	神戸大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野
Sheryl Ghia Pua Gonocruz	Our Lady of Lourdes Hospital	亀田総合病院 ウロギネ科
Ma. Melizza Villalon Ignacio	Ignacio Medical Clinic	ひろしば耳鼻咽喉科
Adriel Vincent Lim Ang	University of Santo Tomas Hospital	奈良県立医科大学 整形外科教室
Kristine Joyce Linay Porto 2017年度	St. Luke's Medical Center	東京大学大学院医学系研究科 分子神経学講座
Suzanne Marie Quidayan Ilagan	St. Luke's Medical Center	徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学(神経内科)
John Clemente Aniceto De Leon	Mariano Marcos Memorial Hospital and Medical Center	藤田医科大学医学部 脳神経外科学講座
小 計	9名	
韓 国		
Min-A Kim	Gangnam Severance Hospital, Yonsei University	京都大学医学部 婦人科学産科学教室
Hyun Joo Lee	Seoul National University Hospital, Seoul National University	東京都健康長寿医療センター
Young Kul Jung	Korea University, Ansan Hospital	京都大学iPS細胞研究所 増殖分化機構研究部門 金子新研究室
Hyung Lae Cho	Good Samsun Hospital	徳島大学大学院医歯薬学研究部 感覚運動系病態医学講座運動機能外科学(整形外科)
小 計	4名	
中 国		
Hang Zhao 赵航 2017年度	吉林大学中日联谊医院 China-Japan Union hospital of Jilin university	東京大学 脳神経外科
Weiding Cui 崔维顶 2017年度	南京医科大学第一附属医院 The first affiliated hospital with Nanjing Medical University	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 整形外科
Wen Zhang 张雯 2017年度	云南省第一人民医院 The First People's Hospital of Yunnan Province	杏林大学医学部附属病院 産科/婦人科
Qiaoyan Gu 古巧燕 2017年度	延安大学附属医院 Yanan University Affiliated Hospital	国立がん研究センター中央病院 内視鏡科消化管内視鏡
Liang Wen 温亮	首都医科大学附属北京朝陽医院 Beijing Chaoyang Hospital, Capital Medical University	横浜市立大学 整形外科
Xiangjun Cheng 程相俊 2017年度	重慶医科大学付属第二医院 The second affiliated hospital of ChongQing Medical University	奈良県立医科大学 整形外科教室
Yuan Yuan 袁媛	山東省立医院 Shandong Provincial Hospital	順天堂大学医学部 内科学・代謝内分泌学講座

氏 名	所 属	研 究 機 関
Lei Yao 姚磊	哈尔滨医科大学附属第二医院 The Second Affiliated Hospital of Harbin Medical University	九州大学大学院 臨床・腫瘍外科
Xiaopan Chen 陈小盼	哈尔滨医科大学附属第一医院 The First Affiliated Hospital of Hainan Medical University	順天堂大学大学院医学研究科 内科学・代謝内分泌学講座
Ying Gao 高滢	The second affiliated hospital of Xi'an jiaotong university	東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Yuan Zhang 张源	First Affiliated Hospital of Kunming Medical University	慶應義塾大学医学部 整形外科科学教室
Jia Fu 符佳	Hunan Provincial People's Hospital	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター
Rong Jiang 江榕	Dongfang Hospital	自治医科大学 外科学講座形成外科学部門
小 計	13名	

インドネシア

Profitasari Kusumaningrum 2017年度	Cipto Mangunkusumo Hospital	大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
Muhammad Syauqie	Andalas University	山口大学大学院医学系研究科 眼科学
Febriani Endiyarti	Cipto Mangunkusumo National Hospital	関西医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
Luh Ari Indrawati	Universitas Indonesia, Cipto Mangunkusumo Hospital	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所疾病研究第一部
Yhusi Karina Riskawati	Universitas Brawijaya	金沢大学 人間科学系
Mohamad Reza	Andalas University	自治医科大学 感染・免疫学講座 医動物学部門
Trifonia Pingkan Siregar	Cipto Mangunkusumo General Hospital, Universitas Indonesia	京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学)
Kemal Fariz Kalista	Cipto Mangunkusumo General Hospital, Universitas Indonesia	神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座 臨床ウイルス学分野
Taufiq Nur Budaya	Brawijaya University	順天堂大学医学部 泌尿器科学講座
小 計	9名	

ベトナム

Khang Tuan Nguyen	National Hospital of Odonto-Stomatology	東京医科歯科大学医歯学総合研究科 咬合機能矯正学分野
Thu Anh Nguyen 2017年度	University of Medicine and Pharmacy	国立成育医療研究センター 手術・集中治療部
Giang Hoang Dang	Hanoi Medical University	横浜南共済病院 整形外科
Thau Manh Cao	Viet Duc University Hospital	東京女子医科大学 消化器外科学
小 計	4名	

そ の 他

Allah Nawaz パキスタン	富山大学	富山大学附属病院 第一内科
Somasundaram Arumugam インド	新潟大学	新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科学
Santosh Kumar Gothwal インド	京都大学	京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学
Saifun Nahar バングラデシュ	琉球大学	琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座
Rania Nabih Mohamed Elshaheny エジプト	Mansoura University	長崎大学大学院医歯学総合研究科 生命薬科学専攻 衛生化学分野
Pankaj Prasoon ネパール	Navjiwan Hospital	新潟大学 消化器・一般外科(第一外科)
Garima Tripathi インド	九州大学	九州工業大学大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 生体メカニクス講座
Mohammad Sofiqur Rahman バングラデシュ	金沢大学	金沢大学医薬保健研究域 国際保健薬学
James Omboga Osoro ケニア	Nyamira County Referral Hospital	長野市民病院 泌尿器科
Abdelsamad Ibrahim Rady Elshamy エジプト	National Research Centre	徳島文理大学薬学部 生薬学研究室
小 計	10名	
合 計	62名	

国別外国人留学研究者数累計

2019/3/31現在
(来日ベース)

国別	期 間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	52	111	57	312	1	555	1964
タイ			7	11	118	72		208	1966
フィリピン			6	10	101	32		149	1971
韓国			3	110	18	1		132	1972
中国			31	117	107			255	1981
インドネシア			8	18	59	72	2	159	1982
ベトナム				3	20	46	1	70	1998
アフガニスタン				1				1	
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリー			1	2	1			4	
イラン				1				1	
インド			2	18	9	1		30	
エジプト				10	3	1		14	
オーストラリア				2				2	
カナダ				2	1			3	
ケニア				1				1	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スウェーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア				1				1	
ドイツ			4	4	3			11	
トルコ				1	3			4	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				3	1			4	
パキスタン				3				3	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				7	8	3		18	
ブラジル				1				1	
フランス			2	3	3	1		9	
ベネズエラ				1				1	
ベラルーシ				1				1	
ペルー			1	1	2			4	
ベルギー					1			1	
マレーシア				1		1		2	
ミャンマー			1	1	3	3		8	
メキシコ			1					1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア			1	1			1	3	
合計		22	124	454	524	546	5	1,675	

医学部博士課程奨学助成者

2018年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
小熊 俊輝	九州大学大学院医学研究院 基礎医学部門系統解剖学分野
宮崎 孝	九州大学大学院医学研究院 社会環境医学講座法医学分野
九野 宗大	京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学
長野 眞大	京都大学大学院医学研究科 生体構造医学講座機能微細形態学分野
原田 昭和	大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学
檜垣 慧	大阪大学大学院医学系研究科 幹細胞生物学
勝田 紘基	名古屋大学大学院医学系研究科 細胞生物学
鈴木 健史	名古屋大学大学院医学系研究科 微生物免疫学講座ウイルス学分野
久米 秀明	東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻構造生理学分野
多月 文哉	東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻システムズ薬理学教室
毛塚 大	東北大学大学院医学系研究科 免疫学教室
坂田 菜摘	東北大学加齢医学研究所 基礎加齢研究分野
大木拓究人	北海道大学遺伝子病制御研究所 分子神経免疫学
笹森 瞳	北海道大学大学院医学院 神経薬理学教室

14名

2016年度継続奨学助成者の中で、研究優秀による追加奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
吉永 正憲	京都大学ウイルス研究所 感染防御研究分野
半田 悠	北海道大学大学院医学院 分子生物学分野

2名

第20回武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者

別表(6)

氏名	所属	ポスタータイトル
穂近 慎一郎	東京大学大学院工学系研究科 化学生命工学専攻	Cap-specific terminal N6-methylation of RNA by an RNA polymerase II-associated methyltransferase
井澤 俊明	東北大学大学院薬学研究科 遺伝子制御薬学分野	Vms1 is a cytosolic CAT-tailing antagonist to protect mitochondria
小松 リチャード馨	京都大学iPS細胞研究所 齊藤博英研究室	FOREST: Massively parallel analysis of RNA structural motif library for comprehensive identification of functional RNA element
平形 樹生	東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 RNA生物学的研究室	Requirements for multivalent Yb body assembly in transposon silencing in Drosophila
Yao Run-Wen	Institute of Biochemistry and Cell Biology, Shanghai Institutes for Biological Sciences, Chinese Academy of Sciences	Nascent pre-rRNA sorting controlled by phase separation drives the assembly of polyhedron-like dense fibrillar components in human nucleolus

5名

II. 処務の概要

2019年3月31日現在

氏名		就任		再任		基本給 (月額) 単位：円	職名
		就任年月日	登記年月日	再任年月日	登記年月日		
1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 8人 10人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年	
理事 (理事長) 常勤	飯澤 祐史	2017. 6. 9	2017. 6. 22	—	—	807,000	
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6. 14	2013. 6. 24	2017. 6. 9	2017. 6. 22	757,000	
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6. 12	2015. 6. 24	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	東北大学 理事 (研究担当)
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	(一社) 未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	国立循環器病研究センター 名誉総長
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	九州大学 名誉教授 聖マリア健康科学研究所 センター長
理事 非常勤	郷 通子	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	名古屋大学 理事 (大学運営担当)
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6. 12	2015. 6. 24	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	名古屋大学 名誉教授
理事 非常勤	澁谷 正史	2009. 9. 30	2009. 10. 15	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授
理事 非常勤	武田 直久	2016. 6. 10	2016. 6. 21	2017. 6. 9	2017. 6. 22	なし	(公財) 発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役
監事 非常勤	池田 裕彦	2017. 6. 9	2017. 6. 22	—	—	なし	弁護士
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6. 17	2011. 6. 30	2015. 6. 12	2015. 6. 24	なし	弁護士

2019年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任 年月日	再任 年月日	職名
評議員	稲葉 カヨ	2018. 6. 8	—	京都大学 理事・副学長
評議員	春日 雅人	2010. 12. 1	2018. 6. 8	(公財)朝日生命成人病研究所 所長 国立国際医療研究センター 名誉理事長
評議員	河盛 隆造	2014. 6. 13	2018. 6. 8	順天堂大学 名誉教授
評議員	笹川 千尋	2010. 12. 1	2018. 6. 8	日本生物科学研究所 理事長 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 京子	2018. 6. 8	—	株式会社 K&H 代表取締役
評議員	鍋島 陽一	2018. 6. 8	—	(公財)神戸医療産業都市推進機構 理事 先端医療研究センター長
評議員	名和田 新	2014. 6. 13	2018. 6. 8	医療法人誠和会牟田病院 名誉院長 九州大学 名誉教授
評議員	平野 俊夫	2018. 6. 8	—	量子科学技術研究開発機構 理事長
評議員	藤吉 好則	2018. 6. 8	—	名古屋大学大学院創薬科学研究科 客員教授 名古屋大学細胞生理学研究センター 特任教授
評議員	本庶 佑	2010. 12. 1	2018. 6. 8	京都大学高等研究院 副院長/特別教授 (公財)神戸医療産業都市推進機構 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010. 12. 1	2018. 6. 8	神戸学院大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項			
	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	7	3,326,000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項	
〈理事会〉	
第33回定時理事会 2018年5月21日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・海外研究留学助成プログラム（新規）承認の件 ・定時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件
第34回臨時理事会 2018年6月15日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度事業計画および収支予算一部修正の件（新規 海外研究留学助成プログラム開始のため） ・選考委員選任の件 ・規程類等改定の件 ・武田薬品の株主総会の議案について
第35回臨時理事会 2018年11月12日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業計画の件
第36回臨時理事会 2018年12月3日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・武田薬品の臨時株主総会の議案について
第37回定時理事会 2019年3月4日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業計画および2019年度予算の件 ・選考委員選任の件 ・規程類等改定の件 ・臨時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件
〈評議員会〉	
第19回定時評議員会 2018年6月8日	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員11名 選任の件 ・2017年度事業報告および決算内容報告の件 ・海外研究留学助成プログラム（新規）開始の件
第20回臨時評議員会 2019年3月25日 (みなし報告による)	議案 <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度事業計画および2019年度予算の件

5. 寄附金に関する事項		
寄 附 者	寄附の目的	寄 附 金 額
坂井印刷他6件	公益事業目的発展のため	315,000円

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	62,411,894	41,932,222	20,479,672
前払金	23,051,520	3,368,930	19,682,590
流動資産合計	85,463,414	45,301,152	40,162,262
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	15,007,044	15,007,044	0
投資有価証券	71,994,299,500	82,090,492,500	-10,096,193,000
図書資料	2,856,296,583	2,801,575,593	54,720,990
基本財産合計	74,865,603,127	84,907,075,137	-10,041,472,010
(2) 特定資産			
助成基金	17,733,629,099	19,406,162,771	-1,672,533,672
杏雨基金	268,485,558	262,965,558	5,520,000
資産取得資金	190,441,000	160,736,000	29,705,000
寄附者指定特定基金	3,529,832,068	3,474,173,158	55,658,910
建物	131,643,132	137,826,292	-6,183,160
特定資産合計	21,854,030,857	23,441,863,779	-1,587,832,922
(3) その他固定資産			
建物	106,827,755	119,836,548	-13,008,793
什器備品	157,898,997	183,872,572	-25,973,575
ソフトウェア	14,410,322	8,180,508	6,229,814
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	279,187,074	311,939,628	-32,752,554
固定資産合計	96,998,821,058	108,660,878,544	-11,662,057,486
資産合計	97,084,284,472	108,706,179,696	-11,621,895,224
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,929,808	13,242,847	-2,313,039
未払費用	1,499,258	1,743,287	-244,029
預り金	2,117,197	2,541,698	-424,501
流動負債合計	14,546,263	17,527,832	-2,981,569
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	5,895,300	4,331,300	1,564,000
退職給付引当金	7,643,000	7,448,000	195,000
固定負債合計	13,538,300	11,779,300	1,759,000
負債合計	28,084,563	29,307,132	-1,222,569
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	69,200,686,500	79,333,589,500	-10,132,903,000
基本財産受取配当金利息	3,804,925,653	3,703,428,913	101,496,740
指定正味財産合計	73,005,612,153	83,037,018,413	-10,031,406,260
(うち基本財産への充当額)	(69,344,520,840)	(79,425,402,850)	(-10,080,882,010)
(うち特定資産への充当額)	(3,661,091,313)	(3,611,615,563)	(49,475,750)
2. 一般正味財産	24,050,587,756	25,639,854,151	-1,589,266,395
(うち基本財産への充当額)	(5,521,082,287)	(5,481,672,287)	(39,410,000)
(うち特定資産への充当額)	(18,192,939,544)	(19,830,248,216)	(-1,637,308,672)
正味財産合計	97,056,199,909	108,676,872,564	-11,620,672,655
負債及び正味財産合計	97,084,284,472	108,706,179,696	-11,621,895,224

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,679,749,655	2,655,428,816	24,320,839
基本財産受取配当金	2,653,673,260	2,629,352,419	24,320,841
基本財産受取利息	26,076,395	26,076,397	-2
特定資産運用益	520,044,636	520,077,462	-32,826
特定資産受取配当金	468,964,080	468,964,080	0
特定資産受取利息	51,080,556	51,113,382	-32,826
受取寄付金	315,000	310,000	5,000
受取寄付金	315,000	310,000	5,000
雑収益	11,018,506	461,891	10,556,615
受取利息	6,806	6,100	706
返還助成金	11,011,700	455,791	10,555,909
経常収益計	3,211,127,797	3,176,278,169	34,849,628
(2) 経常費用			
事業費	3,120,547,586	3,122,614,585	-2,066,999
武田報彰医学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
生命科学研究助成金	300,000,000	300,000,000	0
ライオンズ研究助成金	84,000,000	82,000,000	2,000,000
医学系研究助成金	587,000,000	595,000,000	-8,000,000
薬学系研究助成金	99,000,000	100,000,000	-1,000,000
特定研究助成金	699,800,000	700,000,000	-200,000
ビジョナリーリサーチ助成金	160,000,000	197,000,000	-37,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000	21,600,000	-600,000
杏雨書屋研究助成金	2,450,000	5,000,000	-2,550,000
外国人留学助成金	138,502,567	110,209,502	28,293,065
武田医学賞褒賞金	30,000,000	30,000,000	0
シボジウムホスター褒賞金	2,500,000	2,500,000	0
医学部博士課程奨学助成	181,000,000	179,200,000	1,800,000
助成金等費用	35,583,898	33,065,115	2,518,783
役員報酬	11,194,960	11,215,138	-20,178
給料手当	38,043,285	45,067,225	-7,023,940
役員退職慰労引当金繰入額	799,640	730,966	68,674
退職給付費用	1,775,000	875,000	900,000
福利厚生費	6,660,314	9,139,481	-2,479,167
会議費	29,782,929	30,853,698	-1,070,769
旅費交通費	63,386,893	49,156,939	14,229,954
通信運搬費	4,609,931	4,561,390	48,541
減価償却費	50,174,452	54,577,779	-4,403,327
消耗品費	8,656,536	7,072,164	1,584,372
修繕費	77,767,363	71,329,177	6,438,186
印刷製本費	42,249,742	51,562,020	-9,312,278
光熱水料費	2,026,267	2,270,957	-244,690
賃借料	51,671,771	52,246,012	-574,241
保険料	9,029,877	7,769,135	1,260,742
諸謝金	9,360,226	8,992,680	367,546
租税公課	94,640	18,000	76,640
委託費	53,243,988	40,387,077	12,856,911
広報費	18,892,174	19,086,041	-193,867
雑費	291,133	129,089	162,044

管理費	51,764,211	53,663,584	-1,899,373
役員報酬	13,383,922	13,152,011	231,911
給料手当	13,299,094	13,817,038	-517,944
役員退職慰労引当金繰入額	764,360	698,534	65,826
役員退職金	300,000	3,129,250	-2,829,250
退職給付費用	430,000	395,000	35,000
福利厚生費	6,094,918	5,889,603	205,315
会議費	2,074,396	1,836,708	237,688
旅費交通費	2,390,980	2,543,901	-152,921
通信運搬費	395,775	338,693	57,082
減価償却費	533,391	535,016	-1,625
消耗品費	1,471,301	1,236,085	235,216
修繕費	97,200	345,600	-248,400
印刷製本費	398,669	225,070	173,599
光熱水料費	1,533,209	1,438,272	94,937
賃借料	2,884,843	2,891,966	-7,123
保険料	143,873	144,705	-832
諸謝金	447,147	447,147	0
租税公課	0	2,400	-2,400
会計監査報酬	1,620,000	1,620,000	0
委託費	3,073,390	2,552,154	521,236
雑費	427,743	424,431	3,312
経常費用計	3,172,311,797	3,176,278,169	-3,966,372
評価損益等調整前当期経常増減額	38,816,000	0	38,816,000
基本財産評価損益等	36,053,754	24,642,252	11,411,502
基本財産評価損益等	36,053,754	24,642,252	11,411,502
特定資産評価損益等	-1,666,836,149	-82,555,854	-1,584,280,295
特定資産評価損益等	-1,666,836,149	-82,555,854	-1,584,280,295
評価損益等計	-1,630,782,395	-57,913,602	-1,572,868,793
当期経常増減額	-1,591,966,395	-57,913,602	-1,534,052,793
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	2,700,000	0	2,700,000
図書資料受贈益	2,700,000	0	2,700,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	2,700,000	0	2,700,000
当期一般正味財産増減額	-1,589,266,395	-57,913,602	-1,531,352,793
一般正味財産期首残高	25,639,854,151	25,697,767,753	-57,913,602
一般正味財産期末残高	24,050,587,756	25,639,854,151	-1,589,266,395
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	2,755,170,000	2,755,170,000	0
基本財産受取配当金	2,755,170,000	2,755,170,000	0
特定資産運用益	98,718	122,002	-23,284
特定資産受取利息	98,718	122,002	-23,284
基本財産評価損益	-10,132,903,000	-704,099,000	-9,428,804,000
基本財産評価損益	-10,132,903,000	-704,099,000	-9,428,804,000
一般正味財産への振替額	-2,653,771,978	-2,629,474,421	-24,297,557
一般正味財産への振替額	-2,653,771,978	-2,629,474,421	-24,297,557
当期指定正味財産増減額	-10,031,406,260	-578,281,419	-9,453,124,841
指定正味財産期首残高	83,037,018,413	83,615,299,832	-578,281,419
指定正味財産期末残高	73,005,612,153	83,037,018,413	-10,031,406,260
III 正味財産期末残高	97,056,199,909	108,676,872,564	-11,620,672,655

正味財産増減計算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	26,076,395	0	0	0	0	0	2,601,969,077	2,628,045,472	51,704,183		2,679,749,655
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	2,601,969,077	2,601,969,077	51,704,183		2,653,673,260
基本財産受取利息	26,076,395	0	0	0	0	0	0	26,076,395	0		26,076,395
特定資産運用益	517,174,993	0	0	0	0	2,770,885	45,536	519,991,414	53,222		520,044,636
特定資産受取配当金	468,964,080	0	0	0	0	0	0	468,964,080	0		468,964,080
特定資産受取利息	48,210,913	0	0	0	0	2,770,885	45,536	51,027,334	53,222		51,080,556
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	315,000	315,000	0		315,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	315,000	315,000	0		315,000
雑収益	11,011,700	0	0	0	0	0	0	11,011,700	6,806		11,018,506
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	6,806		6,806
返還助成金	11,011,700	0	0	0	0	0	0	11,011,700	0		11,011,700
経常収益計	554,263,088	0	0	0	0	2,770,885	2,602,329,613	3,159,363,586	51,764,211		3,211,127,797
(2) 経常費用											
事業費	2,396,749,926	370,087,705	58,121,312	65,067,421	24,497,334	206,022,418	1,470	3,120,547,586			3,120,547,586
武田報彰医学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000							300,000,000			300,000,000
ライフサイエンス研究助成金	84,000,000							84,000,000			84,000,000
医学系研究助成金	587,000,000							587,000,000			587,000,000
薬学系研究助成金	99,000,000							99,000,000			99,000,000
特定研究助成金	699,800,000							699,800,000			699,800,000
ビジョナリーリサーチ助成金	160,000,000							160,000,000			160,000,000
中学校・高等学校理科教育振興助成金	21,000,000							21,000,000			21,000,000
杏雨書屋研究助成金	2,450,000							2,450,000			2,450,000
外国人留学助成金		138,502,567						138,502,567			138,502,567
武田医学賞褒賞金			30,000,000					30,000,000			30,000,000
シンポジウムポスター褒賞金				2,500,000				2,500,000			2,500,000
医学部博士課程奨学助成		181,000,000						181,000,000			181,000,000
助成金等費用	26,000,000	1,650,000	2,250,000	250,000		5,433,898		35,583,898			35,583,898
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480		11,194,960			11,194,960
給料手当	12,932,111	6,860,802	1,436,901	2,940,344	1,387,313	12,485,814		38,043,285			38,043,285
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820		799,640			799,640
退職給付費用	540,000	235,000	60,000	115,000	82,500	742,500		1,775,000			1,775,000
福利厚生費	1,103,742	997,592	479,430	997,592	0	3,081,958		6,660,314			6,660,314
会議費	11,434,393	3,217,782	3,754,548	10,323,178	21,605	1,031,423		29,782,929			29,782,929
旅費交通費	23,534,127	17,181,330	2,824,283	17,680,565	0	2,166,588		63,386,893			63,386,893
通信運搬費	994,768	819,395	36,734	53,253	1,759,483	946,298		4,609,931			4,609,931
減価償却費	1,311,380	1,673,832	495,868	497,536	494,455	45,701,381		50,174,452			50,174,452
消耗品費	3,260,811	1,272,890	2,246,702	243,056	0	1,633,077		8,656,536			8,656,536
修繕費	0	0	7,677,504	0	0	70,089,859		77,767,363			77,767,363
印刷製本費	16,334,817	1,359,836	1,123,364	63,142	17,068,542	6,300,041		42,249,742			42,249,742
光熱水料費	518,725	253,283	224,240	253,283	0	776,736		2,026,267			2,026,267
賃借料	2,883,506	3,686,307	2,880,530	2,898,542	2,880,368	36,442,518		51,671,771			51,671,771
保険料	7,513	3,828,680	7,513	7,513	7,513	5,171,145		9,029,877			9,029,877
諸謝金	3,706,570	779,964	751,410	1,417,821	478,891	2,225,570		9,360,226			9,360,226
租税公課	4,000	0	0	0	7,000	83,640		94,640			94,640
委託費	15,842,743	3,696,108	646,825	24,357,396	75,064	8,625,852		53,243,988			53,243,988
広報費	18,398,120	392,494	61,560	0	0	40,000		18,892,174			18,892,174
雑費	600	145,293	111,950	0	0	31,820	1,470	291,133			291,133

正味財産増減計算書内訳表

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
管理費									51,764,211		51,764,211
役員報酬									13,383,922		13,383,922
給料手当									13,299,094		13,299,094
役員退職慰労引当金繰入額									764,360		764,360
役員退職金									300,000		300,000
退職給付費用									430,000		430,000
福利厚生費									6,094,918		6,094,918
会議費									2,074,396		2,074,396
旅費交通費									2,390,980		2,390,980
通信運搬費									395,775		395,775
減価償却費									533,391		533,391
消耗品費									1,471,301		1,471,301
修繕費									97,200		97,200
印刷製本費									398,669		398,669
光熱水料費									1,533,209		1,533,209
賃借料									2,884,843		2,884,843
保険料									143,873		143,873
諸謝金									447,147		447,147
租税公課									0		0
会計監査報酬									1,620,000		1,620,000
委託費									3,073,390		3,073,390
雑費									427,743		427,743
経常費用計	2,396,749,926	370,087,705	58,121,312	65,067,421	24,497,334	206,022,418	1,470	3,120,347,586	51,764,211		3,172,311,797
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,842,486,838	-370,087,705	-58,121,312	-65,067,421	-24,497,334	-203,251,533	2,602,328,143	38,816,000	0		38,816,000
基本財産評価損益等	36,053,754							36,053,754			36,053,754
基本財産評価損益等	36,053,754							36,053,754			36,053,754
特定資産評価損益等	-1,672,346,790					5,510,641		-1,666,836,149			-1,666,836,149
特定資産評価損益等	-1,672,346,790					5,510,641		-1,666,836,149			-1,666,836,149
評価損益等計	-1,636,293,036					5,510,641		-1,630,782,395			-1,630,782,395
当期経常増減額	-3,478,779,874	-370,087,705	-58,121,312	-65,067,421	-24,497,334	-197,740,892	2,602,328,143	-1,591,966,395	0		-1,591,966,395
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計							2,700,000	2,700,000	0		2,700,000
図書資料受贈益							2,700,000	2,700,000	0		2,700,000
(2) 経常外費用											
経常外費用計								0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	2,700,000	0	2,700,000	0	2,700,000
当期一般正味財産増減額	-3,478,779,874	-370,087,705	-58,121,312	-65,067,421	-24,497,334	-195,040,892	2,602,328,143	-1,589,266,395	0		-1,589,266,395
一般正味財産期首残高											25,639,854,151
一般正味財産期末残高											24,050,587,756
II 指定正味財産増減の部											
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000		2,755,170,000
特定資産運用益							45,536	45,536	53,182		98,718
特定資産受取利息							45,536	45,536	53,182		98,718
基本財産評価損益							-9,077,013,000	-9,077,013,000	-1,055,890,000		-10,132,903,000
基本財産評価損益							-9,077,013,000	-9,077,013,000	-1,055,890,000		-10,132,903,000
一般正味財産への振替額							-2,602,014,613	-2,602,014,613	-51,757,365		-2,653,771,978
一般正味財産への振替額							-2,602,014,613	-2,602,014,613	-51,757,365		-2,653,771,978
当期指定正味財産増減額								-9,210,912,077	-820,494,183		-10,031,406,260
指定正味財産期首残高											83,037,018,413
指定正味財産期末残高											73,005,612,153
III 正味財産期末残高											97,056,199,909

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	4,331,300	1,564,000	0	0	5,895,300
退職給付引当金	7,448,000	2,145,000	1,950,000	0	7,643,000

キャッシュ・フロー計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,590,149	2,780,590,149	0
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,420,149	25,420,149	0
特定資産運用収入	520,249,159	520,254,984	-5,825
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	51,285,079	51,290,904	-5,825
寄付金収入	315,000	310,000	5,000
雑収入	11,018,506	461,891	10,556,615
利息収入	6,806	6,100	706
返還助成金	11,011,700	455,791	10,555,909
事業活動収入計	3,312,172,814	3,301,617,024	10,555,790
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,400,411,606	2,430,342,306	-29,930,700
奨学助成事業支出	387,148,390	326,617,363	60,531,027
武田医学賞褒賞事業支出	57,666,389	51,256,944	6,409,445
国際シンポジウム事業支出	64,460,384	59,439,177	5,021,207
本草医書発刊事業支出	23,965,969	30,822,450	-6,856,481
本草医書公開事業支出	156,791,318	157,659,670	-868,352
公益目的事業共通費支出	1,470	1,390	80
管理費支出	52,090,587	61,288,104	-9,197,517
事業活動支出計	3,142,536,113	3,117,427,404	25,108,709
事業活動によるキャッシュ・フロー	169,636,701	184,189,620	-14,552,919
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	0	0	0
基本財産普通預金収入	0	0	0
基本財産投資有価証券償還収入	0	0	0
特定資産取崩収入	252,020,990	7,152,000	244,868,990
特定資産普通預金収入	100,000,000	0	100,000,000
特定資産投資有価証券償還収入	100,000,000	0	100,000,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	52,020,990	7,152,000	44,868,990
投資活動収入計	252,020,990	7,152,000	244,868,990
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	52,020,990	7,152,000	44,868,990
基本財産普通預金支出	0	0	0
基本財産投資有価証券取得支出	0	0	0
図書資料取得支出	52,020,990	7,152,000	44,868,990
特定資産取得支出	337,384,900	166,689,741	170,695,159
特定資産普通預金支出	100,000,000	0	100,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	100,000,000	0	100,000,000
特定資産資産取得資金取得支出	29,705,000	34,689,000	-4,984,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	107,679,900	132,000,741	-24,320,841
固定資産取得支出	11,772,129	3,459,024	8,313,105
什器備品購入支出	1,237,680	0	1,237,680
ソフトウェア購入支出	10,534,449	3,459,024	7,075,425
投資活動支出計	401,178,019	177,300,765	223,877,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	-149,157,029	-170,148,765	20,991,736
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	20,479,672	14,040,855	6,438,817
VI 現金及び現金同等物の期首残高	41,932,222	27,891,367	14,040,855
VII 現金及び現金同等物の期末残高	62,411,894	41,932,222	20,479,672

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ① その他有価証券 (時価のあるもの) 期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定) によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 ① 建物 定額法によっている。
 ② 什器備品 定額法によっている。
 ③ ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 ① 役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
 ② 退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 資金の範囲には、手元現金及び随時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金 預 金	15,007,044	0	0	15,007,044
投 資 有 価 証 券	82,090,492,500	36,710,000	10,132,903,000	71,994,299,500
図 書 資 料	2,801,575,593	54,720,990	0	2,856,296,583
小 計	84,907,075,137	91,430,990	10,132,903,000	74,865,603,127
特定資産				
助 成 基 金	19,406,162,771	52,212,000	1,724,745,672	17,733,629,099
杏 雨 基 金	262,965,558	5,520,000	0	268,485,558
資 産 取 得 資 金	160,736,000	29,705,000	0	190,441,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,474,173,158	107,679,900	52,020,990	3,529,832,068
建 物	137,826,292	0	6,183,160	131,643,132
小 計	23,441,863,779	195,116,900	1,782,949,822	21,854,030,857
合 計	108,348,938,916	286,547,890	11,915,852,822	96,719,633,984

- (注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期額はその他債券の時価評価益及び償却原価等であり、当期減少額は株式の時価評価損である。
2. 特定資産の助成基金の当期増加額はその他債券の時価評価益及び償却原価等であり、当期減少額は株式の時価評価損である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
現金預金	15,007,044	(0)	(15,007,044)	(0)
投資有価証券	71,994,299,500	(69,200,686,500)	(2,793,613,000)	(0)
図書資料	2,856,296,583	(143,834,340)	(2,712,462,243)	(0)
小 計	74,865,603,127	(69,344,520,840)	(5,521,082,287)	(0)
特定資産				
助成基金	17,733,629,099	(0)	(17,733,629,099)	(0)
杏雨基金	268,485,558	(0)	(268,485,558)	(0)
資産取得資金	190,441,000	(0)	(190,441,000)	(0)
寄附者指定特定基金	3,529,832,068	(3,529,448,181)	(383,887)	(0)
建物	131,643,132	(131,643,132)	(0)	(0)
小 計	21,854,030,857	(3,661,091,313)	(18,192,939,544)	(0)
合 計	96,719,633,984	(73,005,612,153)	(23,714,021,831)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	166,165,775	34,522,643	131,643,132
その他固定資産			
建物	179,460,183	72,632,428	106,827,755
什器備品	325,213,895	167,314,898	157,898,997
ソフトウェア	54,311,637	39,901,315	14,410,322
合 計	725,151,490	314,371,284	410,780,206

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券及び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金 (目的達成による指定解除額)	2,647,490,100
基本財産受取配当金 (減価償却費計上による振替額)	6,183,160
特定資産受取利息 (目的達成による指定解除額)	98,718
合 計	2,653,771,978

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	41,932,222	現金預金勘定	62,411,894
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	0
現金及び現金同等物	41,932,222	現金及び現金同等物	62,411,894

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前 期 末	当 期 末
重要な非資金取引はない。	基本財産として受贈された図書資料がある。評価額は2,700,000円である。

財 産 目 録

2019年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			62,411,894
現金	手元保管	運転資金として	108,126
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	5,037,218
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	57,266,550
前払金			23,051,520
前払金	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	3,051,520
前払金	海外研究留学者	海外研究留学助成金前払金	20,000,000
流動資産合計			85,463,414
(固定資産)			
基本財産			74,865,603,127
現金預金			15,007,044
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,007,044
投資有価証券			71,994,299,500
株式	(武田薬品株)15,306,500株		69,200,686,500
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	61,989,691,500
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	7,210,995,000
公社債		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	2,793,613,000
その他債券	第131回利付国債(20年)		302,275,000
	第10回利付国債(30年)		114,020,000
	第11回利付国債(30年)		294,288,000
	第143回利付国債(20年)		181,515,000
	第62回利付国債(20年)		104,240,000
	第329回利付国債(10年)		260,650,000
	第327回利付国債(10年)		145,250,000
	第333回利付国債(10年)		254,849,000
	第151回利付国債(20年)		464,160,000
	第152回利付国債(20年)		116,110,000
	第155回利付国債(20年)		158,256,000
	第157回利付国債(20年)		398,000,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。	2,856,296,583
		(公益認定前取得額合計)	2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 2,488部	409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈 1,337部	570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業株 寄贈 16,586部	339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業株 寄贈 589点	23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業株 寄贈 150点	3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈 2,396部	232,500
	村上文書	武田家 寄贈(書状5,000通含) 909部	8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈 195部	154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈 758部	62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫 1333部	8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入 4部	1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入 8部	236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入 5部	937,300
	宋版 経史證類備急本草	1997年度購入 5部	203,940
	中薬大辞典	1999年度購入 5部	308,700
	本草図譜	1999年度購入 1部	506,520
	東洋医学書善本叢書	2000年度購入 20冊	681,345

図書資料

本草肉摺	2000年度購入	4帙23冊	8,925,000
黄帝内経素問診解他	〃	29冊	873,600
医心方統編	2000年度購入	1冊	488,250
萬金産業袋	2001年度購入	5冊	189,000
中国本草全書	2001～2002年度購入	411冊	8,908,333
金陵本 本草綱目	2002年度購入	7	236,250
「蘭」川澄理三郎彩色肉筆画	2002年度購入	109枚	1,260,000
BOTANICAL CABINET	〃	20冊2000枚	4,725,000
HOOKEE'S EXOTIC FLORA	〃	3冊233枚	892,500
THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入	34冊	7,875,000
鴻寶秘要抄	〃	1冊	682,500
続添鴻寶秘要抄抜書	〃	1冊	262,500
江馬榴園書状集	2003年度購入	1冊	357,710
衍義本草	2004年度購入	21冊	9,450,000
医方大成	〃	5冊	2,100,000
医林類証集要	〃	20冊	4,200,000
世医得効方	〃	20冊	4,200,000
植物誌がテレン図書館蔵本ファクシム版	2005年度購入	1冊	1,197,000
補遺雷公炮製便覧	〃	13冊	350,000
東洋医学雑誌復刻彙書	〃	8冊	257,250
常陸文庫	〃	571部	74,970,000
Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
長崎西家由緒書	〃	1冊	252,000
野間玄琢書状	〃	1冊	170,000
奈須玄盅・玄竹書状集	〃	1冊	420,000
帆足万里書状	〃	1冊	252,000
権田直助書状集	〃	1冊	220,000
ヘボン氏手術図以下 126点	2007年度購入	126点	22,050,000
キニホフ植物印影図譜	〃	1冊	4,200,000
本草品彙精要写本	〃	6冊	367,500
松木文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
一神論・序聴迷詩所経	〃	2巻	577,500
曲直瀬道三自筆啓迪集	〃	2冊	7,000,000
森鷗外書簡巻	〃	1通	1,400,000
ベルセリウス：化学教書	〃	6冊	660,000
エウスタキオ画：解剖図表	〃	1冊	450,000
森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
香葉抄	〃	1冊	7,896,000
小関仁一郎書簡巻	〃	1巻	300,000
Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1～3, 1953 Watson JD and Crick FHC他	〃	19冊	15,579,900
二宮文庫	〃	268点	52,500,000
医方考	2010年度4月～11月購入	6冊	4,800,000
意伝鈔	〃	1冊	360,000
ローベル：草木誌	〃	1冊	2,173,500
ラノウ：博物陳列室	〃	1冊	282,555
ショメル：家政事典 初版（フランス語）	2010年度4月～11月購入	1冊	724,500
田中彌性園文庫	〃	700点	65,724,750
沢庵宗彭自筆刺針要致	〃	1巻	1,260,000
配濟録他	〃	3冊	1,462,960
医心方提要他	〃	13冊	2,276,960

(以上、公益認定前取得)

図書資料

		(以下、公益認定後取得)	
		(公益認定後取得額合計)	
			814,485,260
方葉順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500
lennec Stethoscope. c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980
石原保秀文庫	2011年(財)日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000
解剖学蘭訳初版	"	1冊	6,500,000
小曾戸文庫	"	1802点	261,092,470
Ontleding des Menschelyken	"	1冊	1,995,000
外科学入門	"	1冊	367,500
トーマス・バルトリン「解剖学」	"	1冊	262,500
師弟問答	"	1冊	4,500,000
曲直瀬道三書状	"	1冊	650,000
合葉直伝集	"	1冊	350,000
岡本玄治書状	"	1部	157,500
方肥剂	"	1冊	340,980
古医書写本	"	9冊	560,980
医学正伝	"	8冊	945,980
證類本草序列	"	1冊	2,250,000
ソール：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000
ハルトヴィン：リンネの体系にもとづく自然誌	"	37冊	2,100,000
マルチネット：自然の教理問答	"	4冊	81,900
バスター：科学の楽しみ	"	1冊	441,000
シュブレゲル：植物学入門	"	3冊	126,000
ジャクソン：植物学入門	"	1冊	79,800
ディホス：王立植物園での実演による血液循環および新発見に基づく人体の解剖	"	1冊	56,133
楢林高秀静山、建吉巨梅、宗建和山、高連峡山像	"	4幅対	100,000
浅田栗園先生母堂栗園宛消息	"	4通	85,000
鈴木松塘・菜蘭 浅田栗園宛書簡他	"	26通	250,000
長崎医師笠戸正胤・西道仙 浅田栗園宛書簡他	"	10通	200,000
名家書簡	"	46通54紙	2,625,000
マルティン：哲学教師または現代実験自然学概説	"	1冊	94,500
医学正伝	"	8冊	7,500,000
奥田・藤平文庫	"	668点	13,760,460
古文孝経	"	1巻	12,055,970
神農皇帝真伝灸図	"	1冊	285,990
校正本 救荒本草・救荒野譜	"	3冊	395,990
草之名集 秋之部	"	1冊	175,990
新刊 大観本草	"	20冊	1,759,990
日本植物図譜	"	1冊	1,088,990
察病指南	"	1冊	285,990
意伝普救録	"	1冊	285,990
節斎漫録	"	3冊	2,210,990
大成論抄	"	1冊	340,990
禽獸魚介蟲図譜	"	4冊	1,759,990
医家本草家書状	"	1巻	420,000
大塚修琴堂文庫	"	2985点	139,987,890
中西深斎 尺牘	2013年度購入	1軸	380,000

図書資料	曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・巨禁本草	〃	2冊	9,000,000
	素問入式運氣論奥	〃	1冊	3,500,000
	重修政和經史證類備用本草（卷十五～十七）	〃	1冊	252,000
	吉雄幸作・俊蔵書簡	〃	1巻	420,000
	江馬春齡・蘭斎書簡	〃	1巻	330,000
	ターヘル・アナトミア	〃	1冊	290,200
	日本医史学会文庫	〃	38点	7,980,500
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	319点	42,765,760
	レメリン「小宇宙図譜」ラテン語&オランダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
	刈谷藩士本草学者穴戸昌 自筆文書	〃	12冊	525,000
	伊藤（圭介・延吉・篤太郎）家伝来文書	〃	9幅	5,450,000
	射駒山観花書画	〃	1巻	270,000
	蘭畹摘芳草稿	〃	1冊	1,700,000
	大阪華岡塾合水堂文庫	〃	12点	20,422,500
	本間玄調肖像	〃	1幅	315,000
	ニーランド「ネーデルラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
	クルムス「ターヘル・アナトミア」	〃	1冊	3,078,000
	難波抱節自筆稿本・旧蔵写本・版本一括	〃	21冊	367,500
	二十八宿三薇垣並星象畧図	〃	1冊	84,000
	家宝全書・清嘉録・医謬正俗難波抱節自筆本	〃	7冊	148,500
	解体新書	〃	5冊	4,000,000
	古文孝経	〃	1冊	8,500,000
	玉機微義	〃	12冊	6,500,000
	杉立文庫	〃	26点	5,990,560
	古訓医伝薬能方法辨	〃	5冊	36,750
	傷寒論国字辨	〃	1冊	31,500
	傷寒論辨正	〃	1冊	15,750
	傷寒外伝	〃	1冊	42,000
	五書別髄	〃	1冊	63,000
	傷寒論識	〃	6冊	15,750
	傷寒論特解	〃	1冊	73,500
	家刻傷寒論	〃	1冊	63,000
	傷寒貫珠集	〃	1冊	73,500
	喩嘉言先生傷寒尚論篇全書	〃	1冊	63,000
	金匱正辨	〃	1冊	10,500
	傷寒論劉氏伝	〃	1冊	15,750
	傷寒論鞞義	〃	1冊	94,500
	傷寒論大意	〃	1冊	31,500
	キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica」	〃	1冊	997,207
	温知堂文庫	〃	619点	19,440,000
	解体新書	〃	5冊	3,591,000
	経史證類大観本草	〃	25冊	1,200,000
	本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本間玄調宛書簡	2016年度購入	2巻	210,000
	千魚一観録	〃	1冊	31,500

図書資料	小曾戸文庫	〃	632点	80,935,050	
	スメリー「産科学解剖図録」	〃	1冊	1,404,000	
	時還読我書捷見	〃	1冊	270,000	
	参製口訣稿本 二種	〃	2冊	270,000	
	宋本素問版心文字録	〃	1冊	162,000	
	遊仙窟	〃	1冊	270,000	
	劉向新序 十卷	〃	2冊	432,000	
	素女妙論	〃	1冊	64,800	
	素女妙論	〃	1冊	37,800	
	黄素之妙論	〃	1冊	129,600	
	黄素妙論	〃	1冊	129,600	
	釋糸付釋麻	〃	1冊	210,000	
	東大寺古文書	〃	1幅	105,000	
	多紀元簡自画像	2017年度購入	1幅	70,000	
	医心方	〃	30冊	3,240,000	
	三医聖画像（三幅対）	〃	3幅	54,000	
	黄帝秘要良方	〃	1冊	270,000	
	扁鵲倉公列伝割解	〃	1冊	162,000	
	傷寒論述義	〃	1冊	378,000	
	葉雅	〃	1冊	194,400	
	新刊京本活人心法	〃	1冊	486,000	
	増修無冤録大全	〃	1冊	216,000	
	医学院学範 第一編三卷	〃	3冊	31,500	
	温疫論	〃	2冊	8,400	
	温疫論私評	〃	2冊	36,750	
	華氏解剖摘要九卷	〃	2冊	42,000	
	金鷄医談	〃	1冊	31,500	
	種痘傳習録	〃	1冊	31,500	
	内科新説	〃	3冊	6,300	
	博物新編 三刻	〃	3冊	5,250	
	京都典薬寮医師大野家旧蔵資料	〃	一括	840,000	
	杉田玄白肖像画	〃	1幅	20,000	
	神農像	〃	1幅	80,000	
	神農像 附肖像木版画	〃	2幅	150,000	
	ルードヴィヒ「植物学講義」初版	〃	1冊	248,400	
	嘗一学士入余門云々	〃	1軸	550,000	
	伊藤圭介葉書・書状	2018年度購入	一括	150,000	
	長井長義朝鮮視察時写真帖	〃	1冊	105,000	
	察病指南 室町中期刊 五山版	〃	1冊	10,800,000	
	羽田文庫	〃	116点	40,503,750	
	察病指南	〃	1冊	126,000	
	養生月覽	〃	1冊	63,000	
	香川修徳書状	〃	1通	30,240	
	富士川游書	〃	1幅	108,000	
	列仙傳巻物（小曾戸文庫追加）	小曾戸 洋 氏 寄贈	2巻	2,835,000	
	特定資産			21,854,030,857	
	助成基金			17,733,629,099	
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	12,832,623		
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	800,000,000		
投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	16,920,796,476		
株式	武田薬品(株) 2,605,356株		11,778,814,476		
公社債			5,141,982,000		
その他債券	第326回利付国債(10年)		299,802,000		
	第11回利付国債(30年)		183,930,000		
	第137回利付国債(20年)		243,360,000		
	第139回利付国債(20年)		722,220,000		
	第329回利付国債(10年)		312,780,000		
	第141回利付国債(20年)		244,320,000		
	第62回利付国債(20年)		208,480,000		

	第148回利付国債(20年)		480,840,000
	第149回利付国債(20年)		120,370,000
	第151回利付国債(20年)		348,120,000
	第337回利付国債(10年)		257,300,000
	第338回利付国債(10年)		155,490,000
	第339回利付国債(10年)		519,250,000
	第152回利付国債(20年)		232,220,000
	第155回利付国債(20年)		113,040,000
	第157回利付国債(20年)		298,500,000
	第159回共同地方債(10年)		401,960,000
杏雨基金			268,485,558
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	1,432,558
公社債			267,053,000
その他債券	第152回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。	
資産取得資金			190,441,000
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	185,605,000
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。	4,836,000
寄附者指定特定基金			3,529,832,068
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。	1,662,764,753
現金預金	法人会計		1,867,067,315
建物	公益目的事業会計		131,643,132
	新南館書庫	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	131,643,132
その他固定資産			279,187,074
建物			106,827,755
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。	17,831,088
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	88,996,667
什器備品			157,898,997
公益目的事業会計	(本草医書公開)		156,077,512
	自動化書庫装置一式	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。	119,001,887
	道修町ビル1F展示室備品	〃	30,471,417
	道修町ビル4F 書架	〃	6,173,115
	両袖机1台	〃	75,748
	サーバー1台	公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。	355,345
法人会計	(管理費)		1,821,485
	サーバー2台	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	1,234,117
	道修町ビルデジタル交換機、デジタル電話設備	〃	134,240
	会議室テーブル・OA収納テーブル	〃	453,128
ソフトウェア			14,410,322
公益目的事業会計	電子申請システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	1,325,610
公益目的事業会計	研究助成管理システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	37,800
公益目的事業会計	研究助成評価システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。	9,668,151
公益目的事業会計	外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして使用している。	2,688,036
法人会計	公益法人会計システム	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。	690,725
保証金			
法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。	50,000
固定資産合計			96,998,821,058
資産合計			97,084,284,472

(流動負債)			
	未払金		10,929,808
	未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの タイ武田/インドネシア武田 業者に対するもの	監査費用未払分 給与未払分 給与未払分 外国人留学研究者航空券費用 未払分 自動化書庫定期保守料金 未払分
			1,620,000
			1,564,000
			3,449,582
			1,056,226
			3,240,000
	未払費用		1,499,258
	未払費用	常勤役員・職員に対するもの	給与・期末手当 福利厚生費未払分
			1,499,258
	預り金		2,117,197
	預り金		住民税の預り金
			317,900
			給与・期末手当所得税 預り金
			935,042
			給与・期末手当 社会保険預り金
			864,255
流動負債合計			14,546,263
(固定負債)			
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤理事に対する退職慰労金の支払に備えたもの
	退職給付引当金	職員に対するもの	入団後2年超の職員に対する退職金の支払に備えたもの
			5,895,300
			7,643,000
固定負債合計			13,538,300
負債合計			28,084,563
正味財産			97,056,199,909

独立監査人の監査報告書

2019年4月17日

公益財団法人 武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員

公認会計士 吉 村 祥 二 郎

業務執行社員

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の2019年3月31日現在の2018年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人武田科学振興財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

2019年5月9日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 飯澤 祐史 殿

監事 夏住 要一郎 ㊟

監事 池田 裕彦 ㊟

私たち監事は、当財団の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上